

特 224
565



3

0039788-000

特 224-565

方面事業取扱方法

海野幸徳・著

内外出版印刷

昭和3

AGI

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法
第67条の規定に基づき、平成12年5月15日
付けで文化庁長官の裁定を受け使用するもので

特224

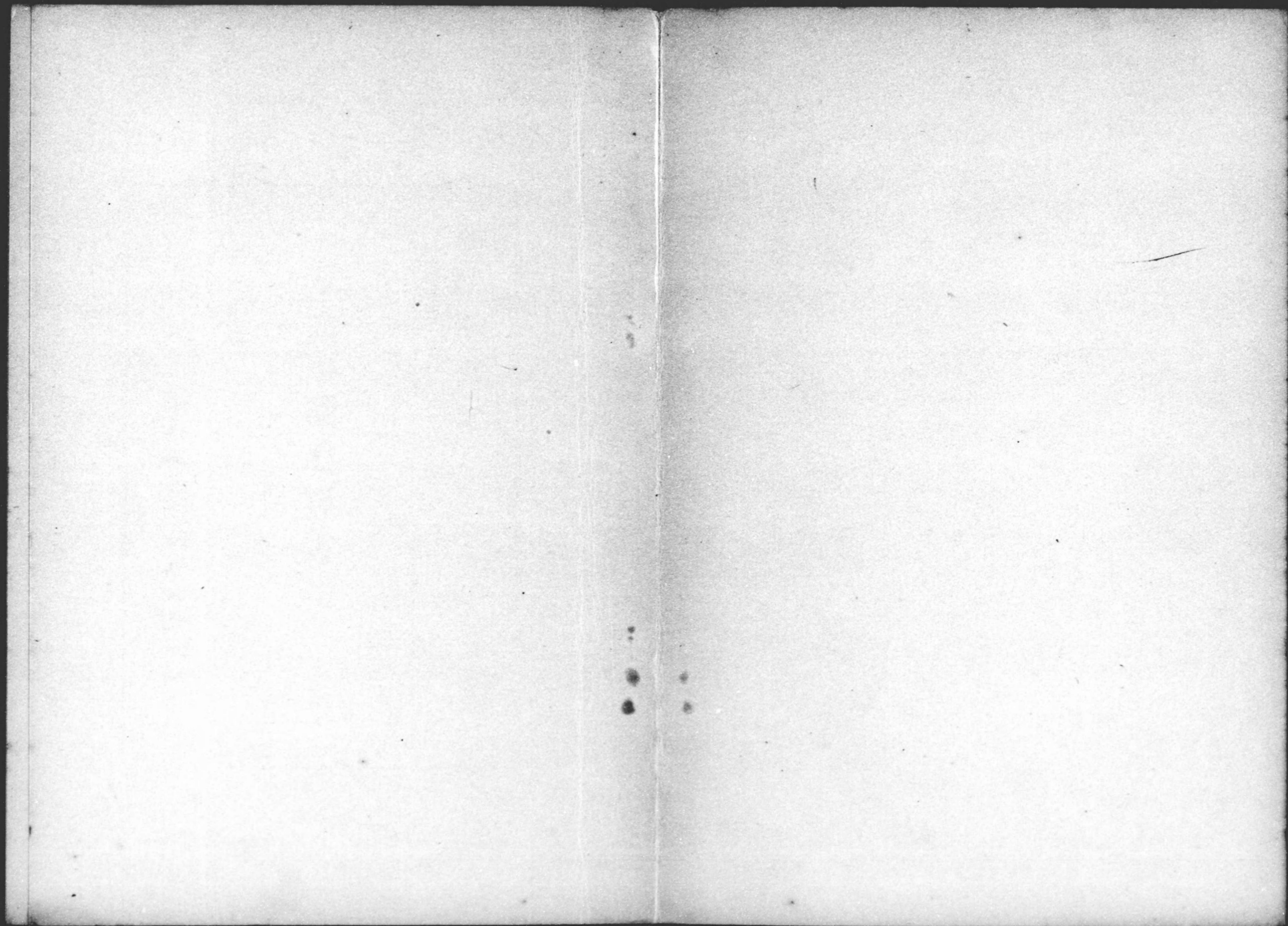
565

社會事業研究所長
文學部教授

海野幸德著

方面事業取扱方法

内外出版印刷株式會社發行



時 224
565



海野幸徳著

方面事業取扱方法

内外出版印刷株式会社發行



この小著を方面事業取扱の道
案内として社会改良を念とせ
らるゝ方面委員諸氏に捧ぐ

はしがき

昨春、私は「方面委員制度指針」を方面教科書として公刊したが、忽ち、全国方面委員諸氏の愛用を得、六版を重ねるに至つた。

然るに、これに次いで、方面事業の實際取扱方法を説明する一書の要求あり、ここに、私は再び「指針」の姉妹書として、「方面事業取扱方法」を著作提供することとした。

「方面指針」では方面事業の本質、設計、及運用を説明したが、本書に於ては更に進んで、方面委員諸氏の實際的活動にあたり、現はれ来るべき各種社会事件の取扱方法を説明し、もつて、その坐右の友たらしめんとす。これによつて、「指針」と相俟ち相照らし、我國方面事業の健全なる發達を促し、その活動を盛ならしむる一助たりうれば著者の欣幸に過ぐるものはない。

昭和三年新春

著者 敬白

方面事業取扱方法

目次

- 一 貧民の取扱……………一
- 一 貧民調査
- 二 院内救助
- 三 院外救助
- 四 金給
- 五 物給
- 六 救助期間
- 七 行路病者
- 八 行路病者規則

目次

九 行路病者の救護

一〇 恤救規則

二 病者の取扱……………一七

一 病者の薄俸

二 施療病院

三 病院の種別

四 病院福利施設

五 外來患者

六 實費診療

七 救療所種別

八 精神病者

九 結核患者

一〇 性病患者

三 老衰者の取扱……………二六

一 老衰者取扱の精神

二 小舎制

三 老衰者取扱の心得

四 兒童の取扱……………二二

一 女方面委員

二 兒童の愛護

三 兒童健康相談所

- 四 衛生訪問
- 五 牛乳供給
- 六 産院
- 七 乳兒院
- 八 托兒所
- 九 學童預り所
- 一〇 孤兒
- 一一 棄兒
- 一二 精神薄弱者
- 一三 不良兒

五 失業者の取扱

.....六

- 一 失業の意義
- 二 個人的失業の救済
- 三 産業的失業の救済
- 四 少年職業紹介

六 浮浪人の取扱

.....六

- 一 季節的労働者
- 二 移動の日傭労働者
- 三 移動的非労働者
- 四 非移動の日傭労働者
- 五 パム
- 六 浮浪癖

七 食物給與所

八 勞働殖民

九 宿泊所

七 矯風問題の取扱……………七

一 飲酒の絶滅

二 花柳病の撲滅

三 婦人ホーム

八 教化問題の取扱……………七

一 國民教化

二 民力涵養

三 勤儉強調

四 青年事業

五 公民大學

九 融和問題の取扱……………八

一 融和問題

二 融和事業

三 啓蒙及宣傳

四 融和の理論構成

五 融和の方法

六 分散

七 一時的接觸

- 八 隣保事業
- 九 隣保館
- 三 隣保館の事業

一〇 災害事業の取扱 九

- 一 災害救助
- 二 醫藥と食糧
- 三 衣服及寢具
- 四 バラツク
- 五 救助の範圍

方面事業取扱方法

海野幸徳

一 貧民の取扱

貧民調査 方面委員制度は被救助者を個々調査するために、方面委員を任命し、方面を設定してゐる（この事に就ては本書の姉妹書たる「方面委員制度指針」を見ていたゞき度ひ）よつて、方面委員が貧民を発見しこれを救助するには先づ貧民調査を以て第一歩としなくてはならぬ。この調査要綱は各府縣及都市の定めた調査カードの様式に従つて各欄に記入すべきである。これが方面委員活動の第一歩である。

貧民を調査すれば貧民取扱の方法も自づから決まってくる。貧民の中には、失業者、病者、若くは病弱者、老齡者、精神病患者及び白痴低能といふが如き精神薄弱者があるが、これ等の取扱方法は一々異つてゐる。調査すれば、これは失業者、これは病者、これは精神病患者、これは白痴低能といふことが分るであらう。これに應じて、病者は病院へ、失業者は職業紹介所へ、精神病患者は精神病院へ、白痴低能者は精神薄弱者教育所へ夫々送り込み、取扱を完了しなければならぬ。調査も碌々せず、徒らに金品を施與すれば所謂濫救となる。方面委員制度では先づ調査を成し遂げ、かくて濫救を防止し、適正なる救助をなすことを原則とする。

院内救助 院内救助とは院舎内で救助する謂ひである。よつて、貧民を發見しこれを救助せざるべからざる場合には、健康なものと病弱なものとを分ち、老人と青壯年とを分つ。健康なものや、青年壯年は(一)感化所教育所へ送り、精

神の建直ほしや性格の訓練をなし、まづ、勞働をする氣を有たせなくてはならぬ。これに對し無關に金品を與へてはならぬ。勞働をする氣のある者は職業紹介所へ送つて始末をする。(二)病者若くは病弱者は年齢の如何を問はず病院に收容するか、その他何等か醫療の方法を講ずる(病者の取扱参照)(三)院内救助の方法をとるときは類齡者は養老院へ收容することゝなる。

(一) 養老院は郊外にあるものを選択する事。都會より隔絶するものは便利が悪い。連れて行くのに時間と費用とがかかる。その上、隔絶せる養老院といふものは公衆や官憲の眼にふれず、監督が行き届かないから、自然各種の弊害が滋生する。よつて、なるべく、郊外に在る養老院へ收容することにする。こゝでは空氣も新鮮、環境も静かで、のんびりすることが出来る。

(二) 経歴によつて分類する事。養老院へ收容する老齡者は皆一樣に見えてもいろいろな経歴をもつて居る。これを一緒に取扱ふことは宜敷ない。若い時に

は相當の官公吏であつたり、勤人であつたりするものと、その當時放蕩無頼であり、手のつけやうがなく、一生これで押し通して来たものと一緒に取扱ふことは出来ぬ。よつて、これ等の者は分類して別々の部屋に入れることとし、方面委員はこれを院に要求すべきである。分類の原則は目下の境遇及經歷によつて區分することとし、過去の經歷は凡て軽く見て宜い。

(三) 性別にする事。老人とても仲々油断はならない。養老院送りの老つた男女の痴話狂ひや醜行はなかく多い。これを遮断するには性別にしなくてはならぬ。よつて、委員は院に男子部女子部があるか、若くは性別に従つて分けて居るかを調べなくてはならぬ。もし、混合であれば、區分を要求して欲しい。

(四) 秩序を勵行する事。老人はなかく我儘なもので、屢々、獨立と自由とを奪ふと言つて苦情を言つたり非難したりする。これに對しては、二様の取扱をしなければならぬ。一には、理由なき苦情や非難に對しては斷然秩序を勵行

して、怨言や惡聲に頓着しないこととする。二には、過酷に陥り殘酷なる訓練になることを嚴に誠慎しなければならぬ。よつて、方面委員はその責任上、又院の良友として、時々院を見舞ひ、秩序の維持についても院に協力し、非違が發見せられた場合には夫々矯正の方法を講ずることとする。

(五) 勞働を課する事。收容者には必ず一定の勞働を課することとする。勞働は健康を増進し、性格を整へ、風儀を維持する。勞働を肯んせざる者はこれに若干の強制を施すこととする。病者に對して勞働を課することは出来ないが、病弱者に對しては、勞働は身心の鍛練となり秩序の習慣をつくる。

(六) 入院退院共隨意にすることは出来ない。必ず、院の許可を受くることとする。方面委員はつねに、收容者の動靜を査察し、これを改善し、乃至、その餘生を樂むことに努力しなくてはならぬ。

院外救助 貧民に對し院舎内に於てせず、これをその家庭に於て救護すると

きこれを院外救助といふ。方面委員制度に於ては概して院外救助をなす。

院外救助は避ることができない。それが理想的な方法でないとしても、如何ともすることができない、貧民を悉く院舎に收容するといふことは不可能であるから、如何にしても、家庭に於てこれを救護しなければならぬであらう。委員にして、貧民を發見し、これを救助する場合、前項に述べたやうに、或は職業紹介所に送り、或は精神の矯正をなし、或は勞役所に送り、或は授産場に入れ、或は養老院へ收容して、その始末を了するとするも、悉くこれを院内救助に付することは出来ない。よつて院内救助をなし能はざるときには、委員は轉じて院外救助に向はなければならぬ。

(一) 院外救助にあつては家庭にあり乍ら救助を受くることが出来る。もし、院舎に收容するときは、女子の場合には家政を放棄し、家庭の事、育兒の事は等閑に付さなくてはならぬ。男子の場合には家庭より離れ、戸主としての義務

責任をつくすことができぬ。

(二) 院外救助は院内救助の如く救助されたといふ目じるしがないから、乞食根情を養成し、勞働意志を失ひ、よつて以て、怠惰となり、若くは、性格の敗類を來す虞れがない。

(三) 院外救助の場合には委員はなるべく一時的若くは部分的に救助することとする。一時的若くは部分的に救助しうることが院外救助の特色である。院舎で救助する場合には全部救助しなければならぬが、院外救助では部分救助をなすことができる。それに一時的救助を行ひ、必要なる期間に限り救助することができる。委員に於ては絶えず被救助者を調査し、一時的の上にも一時的たることを期し、部分的の上にも部分的なることを心がけなくてはならぬ。

(四) 救恤規則に該當するものに對してはこれによつて居宅救助を遂行しうる(救恤規則については別項に説明す)東京市では方面委員によつて自宅救助が行

はれ、貧困者一人に付一日金參拾錢以内を給與し、十二歳未満者には貳拾錢以内を給與す。新潟市では収入のないもの若くは収入不足にして生活不能者に對し白米を施與してゐる。この外、我國に院外救助を行ふ私設團體八十二あり、大正十二年の經費總額は三十九萬千七百圓である。方面事業により救助は一に官公團體に於て救助費の計上をなすこと、二には方面後援會を組織する事、三には私設團體の開設を促進する事である。

(五) 院外救助は施與の重複といふ厭ふべきこととなり易いから、施與は必ず中央局に於て登録し、濫救を防止しなければならぬ。

この事に關しては拙著「輓近の社會事業」第二章第二節「貧民の登録」を参照せられたい。

(六) 方面事業は隣人の仕事であるから、隣人の觀念を以て救助しなければならぬ。官公では如何に力むるも隣人の觀念によつて救助することが困難である

よつて、これを補ふため、官公では委員を任命し、個々の貧民に接し、隣人の情を以て救助する仕組みをつくつたのである。委員にあつては、なるべく個々接觸する方法をとり、以て個々貧民を救助しなければならぬ。

(七) 貧民救助に關しては院内及院外救助の各方法及びそれに関する諸機關を總動員して或は貧民を委託し、或はこれを救助する方法を發見するのであるが我國に於ては、一樣に救助資金が枯渴して居る。よつて、方面後援會若くは助成會を開設するを以て先決とする。

金給 救助には金を給與する場合と物品を給する場合とがある。金によつて救助するもの即ち金給である。

(一) 直接物品を給與するが宜いか、又は金を給與した方が宜いかは、一々場合につき判斷する外はない。すなはち、時に金給を是とし、時に物給を可とする。物給をすると、これを賣り贅澤品に代へるやうな場合には、金給となし、

適當にこれを監督する方法をとる。火急の場合、たとへば、震災救助などでは金を貰つても仕方がないから、物給とする。

(二) 貧家の女房は家政といふことを知らない。これを知らしめることが貧家には大切なことだが、物品を直接給與すると、頭を働かして購買することができない。質のよいもの、安いものを買ふことはなか／＼頭のいることである。よつて、家政練習のためには物よりも金を與へる方がよい。

(三) 貧民の嗜好は一般民のものとは違ふ。一般民が甘いと思つても貧民は必ずしもさう思はない。貧民は一般民が嫌いな臭氣のあるものや、特別の調理をしたものを好む。よつて、一般民が自己判断で喜ぶだらうと思つて貧民に給與する物品は必ずしもその喜ぶところとならない。これに對し、金給をして購買せしむることゝなればその憂はない。

物給 物給は衣食住に關するものだけに限られるのではなく、病氣の看護や

埋葬費までも含む。

(一) 物給の方法は直接給與するか、乃至、切符を發行して、それを指定商人につき物品と交換するかである。直接給與の方法を採れば商人に品物の量と質とを誤麻化されないことゝなる。物品の購入はむつかしい技術である。營利一天張りの商人は少しでも少く、少しでも悪い品物を買らうと力める。直接給與はこの弊害を少くする。切符によつて引換へせしむる方法は入用なとき隨時購買し得、また、貯藏の役にも立つ。

(二) 災害とか、病氣で待てないといふやうな即時入用の場合には、直接物給として施與する。

(三) 物給であれば、酒食に費やしたり、浪費をしたりすることを遮ることができる。生活資料たる米や味噌を給與すれば、金給の場合の如く酒を買ひ活動寫真見物に行くことはできなくなる。

(四) 物給でも、金給でも、横着な貧民に對して行つて居るといふ頭で監督を嚴重にしなくてはならぬ。貧民が施米券を集めて賣つたり、二重にも三重にも施與をうけて貯金帳を拵へて居ることは珍らしいことではない。

救助期間 救助期間はなるべく短くすることを原則とする。然るに實地調査を行はざれば、その位の期間救助すべきか分らない。見込みによつて救助し又救助期間を決めることは害があるので、方面制の如く調査する仕組みとし、調査の上で救助の期間を定めなければならぬ。

(一) 一時的救助の場合には、一回限りのもの若くは二回位のものであるが、これに對しては一回の調査に基き救助するか否かを決定すればよく、また、救助の程度も無論同時決定することとする。

(二) 連続的救助の場合には、二週間に付一回づゝ再調査を施行する。病氣だつたものが治はり、失業して居たものが就職する類で、境遇が刻々變るから、

再調査を行ひ、期間や救助程度を決め直す必要がある。

(三) 連続的救助の場合には特に入念に取扱はなければならぬ。然らざれば、幾回も繰り返へして救助をうけ、救助を受くる権利あるが如く考へ、又これを一種の年金と心得るにいたる。これによつて、惰民をつくり徒食の徒を出すは明かである。これ即ち所謂濫救で、方面制度は濫用を防止するために組織された制度であるからには、該制度の眞精神を没却しないやうに入念に調査をしなければならぬ。

(四) 失業者に對しては、失業期間若くはその一部分救助すれば宜く、病氣のものはその期間、老衰者や不具者は連続的に救助すべきである。

行路病者 明治三十二年に制定せられた行路病者取扱法は行路中、貧窮にして、かつ、病あるものを救護し、なほ、行路中死亡せしものを保護することを目的とする。

行路病者規則 行路病人及行旅死亡取扱人法にて保護するものは、(一)行路病人として、行旅中病氣となり、歩行に堪えず、療養の資なく、且つ、救護者なきもの、(二)準行路病者として、行旅中の飢餓凍餒者、手當を要する妊産婦、その他の行路者又は住所なきもの、若くは不明なるもの、(三)行路病人及準行路病人行路死亡人の同伴する幼少年者である。

行路病者の救護 方面委員が行路病者を発見せし場合には、これを救護の主体たる被救護者所在地の市長町村長に引渡すべきである。これを受付けたる市長町村長は直ちに扶養義務者又家族に通知し、若し引取人なき場合には道府縣にこれを引渡すのである。行路病者の救護は道府縣の負擔で、本人又は扶養義務者が辨償することの出来ない場合には道府縣これが支拂の責に任ずる。なほ行路者救護に關しては、道府縣はこれを公私の社會施設に委託することができその救護期間については別に定つた標準を設定してゐない。行路中、死亡した

るもので、住所不明である場合には所在地市長町村長が假埋葬をするから、かかる場合には委員はかくの如き手續をとるべきである。行路死亡者を受付けたる市長町村長は假埋葬の上は一定の公告をなし、引取人なきときは費用は本人の遺留したるものを賣却してこれを支辨し、不足額に對しては所在道府縣これが負擔をなす。

恤救規則 現行の恤救規則なるものは明治七年の制定にかゝり、今に於て、頗る不完全なる觀がある。恤救規則は僅々五ヶ條より成つてゐる。その趣旨たるや、大體、隣保救助により、第一次的救助者を市町村となし、第二次的救助者を國家としてゐる。よつて、無告の窮民にして、生活不能のものは市町村これを負擔し、その不足額だけを國費によつて支辨することになつてゐる。然るに、この不足の程度や標準が明確に規定してないから、どこまでを市町村負擔どこから國家負擔といふことが分らない。

恤救規則によつて救助の實を擧ぐることは至難である。救恤規則では單に米代を給與するのみであるから、到底完全救助を遂行することはできない。方面委員にして貧窮者を發見し、これに恤救規則を適用せんとすれば、それは第一獨身者か、家族があつても、それが悉く七十歳以上若くは十五歳以下であるかを調べなければならぬ。一層詳しく言へば、本人は(一)七十歳以上の老衰者、(二)廢疾者、(三)疾病の故により勞働不能のもの、(四)十三歳以下の幼弱者たるを要する。給助額は老衰者及廢疾者に對しては、所在地に於ける前月の下米公定相場で一ケ年一石八斗を給與する。病者には一日に付男には米三合、女には二合であり、幼弱者には一ケ年米七斗の割合で給與する。

日清戰役後貧窮者の増加に鑑み、救助範圍を擴張し、一家數人廢疾、疾病、老幼等にして自活不能者、家人中入營、入獄若くは失踪するものがあつて、餘の家人が廢疾、疾病老幼等で自活不能なもの、僅少の土地家屋等を所有するも負

債の抵當となり、これを賣却するも償還不可能なるものを含むことに改めた。

恤救規則によつては到底完全に貧窮者を救助することが出来ないから、方面委員は公私の救助機關を利用し、また、これが創設を計畫若くは促進し、なほ方面後援事業をも起して貧窮者救助の方法をつくさなければならぬ。

二 病者の取扱

病者の薄俸 病者の運命の多難であり薄俸であることは分り切つて居る。疾病は生業を奪ひ、一家の生計を困難にし、反社會的行爲に導き、子供の學業を廢止する。病弱や不具はそれを貧困に陥れ、醜業に導く。頽齡は生業に従ふ能力を喪失させる。疾病や病弱は社會的生存を脅かし、産を破り、家を傾ける。

施療病院 病者及病弱者の取扱に對しても、院内救助と院外救助との二方法を併用する。方面委員が病者を發見し、これを取扱ふことになる、これを自

宅で療養させるか、病院へ收容するかである。

病院へ收容することゝすれば、我國では、取り分け、全国に行きわたつてゐる恩賜財團濟生會病院若しくは赤十字社病院を利用するか、各地方に開設されて居る施療病院慈善病院へ委託するかである。濟生會病院は東京市では同會の直營であるが、各府縣では内務大臣に委嘱し、地方長官が施行監督の任に當つてゐる。東京市内には濟生會病院分院、乳兒院、診療所、出張所、巡廻看護婦班がある。病院の所在地は大阪、兵庫、神奈川、福岡の諸府縣であり、診療所の所在地は大阪、京都、神奈川、和歌山、下關、小樽、滋賀の諸府縣、常設診療班のある所は長崎、奈良、兵庫の三縣である。その外、臨時巡回診療班を設置せし地方あり。診療機關なき地方と雖も、醫師會及藥劑師會と協定し、開業醫官公私の病院、藥劑師に委託して救療事業の普及を圖つてゐる。よつて各地の方面委員は病者を發見し、これを救助する場合には、先づその土地所在の濟世

會病院や赤十字社病院を利用すべきである。

赤十字社病院は戰時軍人傷病者の救護を主たる事業とするが、これと共に、施療、結核豫防及災害救護をも行つてゐる。本部は東京であるが、各府縣に四十の支部を設置し、支部長に地方長官を委嘱してゐる。

病院の種別 現今病院は一般病院より特殊病院に轉化しつつある。萬病を治療する一般病院は特殊化して、各専門病院に進む傾きがある。

そこで、病院委託に際して、たいていの病人は一般病院に委託するとしても一般病院に收容せしむることの能きぬもの、又は特殊病院の方が適當な場合には夫々特殊病院を選択し、これに委託しなければならぬ。よつて、委員會では常時、委託すべき病院及醫師の表を作製しをき、必要の生じたる場合には直ちに夫々適當なる病院に交渉し、若しくは指定することの出来るやうにしてをかねばならぬ。

精神病は無論一般病院へ收容することが出来ないし、傳染病に對しても特殊病院が要る。結核などに對しては特別の病舎に收容する設備をしてゐる病院もあるが、また、結核病院として特殊化してゐるものもある。花柳病患者に對しても無論特殊病院の方が宜い。

我國の都市には急救病院とも言ふべき災害を受けしものを收容し、直ちに附近で治療を加へる病院に乏しい。私は某都市に於て、方面委員が落馬して肋骨を折つたものを全一日市内を戸板にのせて引きまわし、收容すべき病院を捜しまわり、しかも、無効であつたことを見聞した。かゝる非人道な事態の起るのは災害病院がないからである。交通の頻繁なる地區には災害病院がなければならぬ。電車や荷馬車などで負傷したものを市内とは言へ、遠いところに在る病院まで運搬することは殘酷であり、かつ、一々收容可能かどうかを聞き合す違もない。よつて都市の方面委員は病者取扱方法として、是非この種の病院若

くは負傷者收容所を開設せしめ、また、自づから創設に盡力しなければならぬ。

産院、巡回産婆、無料助産、妊産婦相談所、妊産婦診療所などは全国各地にわたり施設され、その數八十八に達してゐるが(昭和二年六月一日)産院は主として東京、大阪に開設せらるゝに過ぎない。各地の方面委員は妊産婦保護施設として、産院の創設に向つて一層の努力を積まなくてはならぬ。

病院福利施設 病院に附帶する福祉事業が自然に必要なにつてくる。病院を單に治療所であると考へるのは間違つてゐる。病院の事業は、(一)經營、(二)醫療(三)看護であるが、この外、病院は一時病者を委託する家庭の延長と見做すべきである。よつて、病院は宿舍として適當であり、清潔であり、靜穩であり、かつそのうちには秩序がなければならぬ。なほ、入院中、退院間際には間接直接患者の福利に關する事情や事件が生ずる。よつて、病人相談所を開設すること

も必要であらうし、療養に關する世話も要るし(全快後の療養)退院後の各種の相談に與る仕組も要る。

かくの如き事は凡て方面委員の分擔すべき適當なる任務である。退院に際し家庭の事、職業の事、一身上の事など、各種の相談は病院と協力して方面委員がその局に當らなくてはならぬ。東京和泉橋病院には婦人會が參加して病人相談所を設け、東京市療養所では患者の退院後の世話や相談に應じているといふ。この種の分擔は方面委員及方面委員會が病院と連絡をとり遂行すべき事項である。

入院中、女方面委員は時々病院に患者を見舞ひ、手紙書きをなし、慰言を添へて贈物をなし、かつ信仰上の話をなし、患者の家庭と連絡をとつて、家庭の様子、子供の現状などを病人に話して聞かせ、花を枕頭に飾り、特志家よりの寄贈品を出して與へる。これ等の事は男子委員よりも婦人委員の方が適當であ

るから、これ又我國方面制度の中へ婦人委員を導入する理由の一つとなる。概して、男子の患者には男子委員、女子の患者には女子委員が當るが、如上の相談事項は婦人の分野に屬するものが多い。よつて、なるべく婦人委員に於てこれを分擔することゝする。但し、病院内の訪問及相談については一々病院監督者の指揮に従ひ、また、規定を無視しないやうに心得なければならぬ。

病院收容を以て病者の取扱ひが盡くると考へてはならない。入院中、退院間際及退院後に於て方面委員の世話し活動すべき範圍はなかく多い。

外來患者 病者は病院に於て取扱ふ外、家庭に於て院外救療として取扱ひ、若くは、病院や施療所施藥院所で外來患者として取扱ふ。自宅治療の患者には敷醫者を差向けたり、若い不熟練な醫者をまわしたりするから、方面委員はこれを監視しなければならぬ。この種の費用は米國では町村で支出して居るが、我國では方面委員制に附帶する範圍では方面後援會若くは助成金より支出する

やうにすれば簡便である。

外來患者を無差別に碌々調査もせず、救療することゝなれば所謂濫救となり乞食化の作用を惹き起す。よつて、救療をなすに方り、必ず調査を遂行することを原則とする。但し、救療は貧民救助よりも弊害の少いものである。病人の場合でも、虚偽や口實で濫救に陥ることはある。たとへば、まだ全治しないとか、その他の口實を以て病院に止ることを要請したり、薬價が拂へるのに施療を受けたりすることはある。けれども、施療は貧民救助の如く濫救に陥る傾きの乏しいものである。病氣でないのに病氣に罹つてまで施療を受けんとするものもないであらうし、身體を毀傷してまでも治療を受けんとするものもないであらう。その外、施療には施療患者であるといふ侮辱の意味が附帯するし、施療患者として控室に待合せ、また、薬剤師や看護婦にまで軽侮の眼を以て見られることは厭ふべきことであるといふ心理を生ずる。よつて、施療にあつては、

思ふ程濫救に陥ることはない。

けれども、これは程度問題で、施療患者中約四分一は支拂能力のあるものであり、約二分の一は虚偽を弄するものであるから、方面委員は施療にあたり、その他のものゝ如く入念な調査を施行しなければならぬ。病院や施療所で調査すると考へるだらうが、實際、病院や施療所に於て入念にその適不適を調査する餘裕のあるものではない。よつて、方面委員が調査をして、その結果を病院や施療所に通告するか、方面委員が病院や施療所に出張して調査に助力するかといふことにしなければならぬ。

調査の方法は抜き切り検査でも宜い。この方法によれば、容易に支拂能力あるものを除去することができる。なほ、全然施療といふことにせず、何人も支拂得るやうな少額な料金を課し、若くは支拂能力に應じて支拂額を決める方法を探ることゝしても宜い。

實費診療 我國には大正十二年に於て實費診療所は僅かに九ヶ所あるに過ぎず、資産總額は僅に四拾參萬參千圓である。大正十二年に於ける實費延人員は二百六萬千四百六十一人である。然るに、昨年六月締切調査に據れば、兎に角全國に實費診療を實行してゐる官公私團體は九十一に上る。これは前年の調査粗漏のため、斯く激増した觀を呈するのであらうが、一層精細に調査すれば或はこれ以上の數に上るかも知れない。その中、五十團體は東京が獨占してゐるよつて、東京の方面委員は實費診療には困らぬであらうが、その他の地方では孰れも困惑するを免れぬ。京都には六ヶ所の實費診療があり、その中三ヶ所はトラホーム診療所である。大阪には四ヶ所、堺には一ヶ所、横濱には一ヶ所、神戸には五ヶ所、兵庫縣には五ヶ所、新潟には一ヶ所、埼玉縣には一ヶ所、群馬縣には二ヶ所、宇都宮には一ヶ所、栃木縣には一ヶ所、濱松には一ヶ所、沼津には一ヶ所、滋賀縣には一ヶ所、長野縣には四ヶ所、福井縣には一ヶ所、下關

には一ヶ所、和歌山縣には一ヶ所、高知市には二ヶ所、福岡縣には一ヶ所あるかくの如き分布を以て我國方面委員が實費診療を遺憾なく施行することは困難であらう。よつて、方面委員會に於て、この種の治療機關増設を盡力する必要があらう。

實費診療は困難なる事業である。診療を受くる人々は多く中等階級に屬する所謂洋服細民であるから、見榮や外聞をかまわなければならぬ。京都市醫師會では府廳より半額補助を充て年額參千圓に達する半額治療券を發行したが、その結果面白からず、患者はその治療所たる市内醫院につき差別待遇をうくることか、實費の趣旨が市内の醫師に徹底して居ないとか、一般患者と同一の控室に入れられ輕侮せられるとかといふ苦情が百出し、好結果をうる能はずして今にいたつてゐる。實費診療については患者の心理や事情に關しても入念に考慮しなければならぬ。

救療所種別 一般救療事業としては先づ病院であるが、次に無料診療所であり、その外、委託診療及巡回看護婦及産院である。施療病院及無料治療所は全國にわたり二百二十六ヶ所ある。

方面委員の救療周旋はまづこれ等の機關に依頼してその取扱を了す。

精神病患者 特殊診療としては精神病患者、結核病患者及花柳病患者などが挙げられる。

(一) 精神病患者に對しては精神病院若くは一般病院の精神科で治療を加へる。精神病院では熟練せる専門醫と完備した醫療組織とによつて精神病患者に治療を施す。我國の精神病患者推定總數は十四五萬人である。

我國に於ける精神病院は總て十九である。その中、東京に九ヶ所、京都に二ヶ所、横濱に一ヶ所、神奈川縣に一ヶ所、名古屋に二ヶ所、愛知縣に二ヶ所、新潟縣に一ヶ所、徳島縣に一ヶ所である。全國十九ヶ所の精神病院に收容する

患者數三千三百二十六人である(昭和二年六月現在)これに對し患者推定數は十數萬に上る。

(二) 我國の精神病法規は明治三十三年の精神病患者監護法及び、大正八年の精神病院法である。

精神病監護法に於ては、患者に關する監護義務、監置に關する事項を規定してゐる。精神病患者は監護義務者に非ざれば監置することができない。監護義務者なき場合には市町村長これに代り監護することゝなつてゐる。精神病院法では、主務大臣は道府縣に對し病院の設置を命じ、又は公私立精神病院を代用に指定することを規定してゐる。道府縣立及代用病院に收容すべきものは、市町村長の監護すべきもの、司法官廳によつて危険と認定した犯罪人、療養の途なきもの、その他地方長官が入院の必要あると認めたるものである。

(三) 獨立な精神病治療所若くは一般病院の外局として精神病治療所を設くる

必要がある。この種の治療所は診断と治療と退院後の取扱と、精神病原因及取扱方法の研究とを目的とする。治療所では、初期の精神異状を急速診察治療することができ、最も軽微なものを取扱ふことが出来るから、これを家庭や社会から隔離せずして、自然の環境の中に生活せしめながら、治療を加へることができる。この場合、患者は仕事を継続し、社会に接觸するので、その社会的經濟的義務をそのまま存置することができる。治療所による取扱は入院せしむる必要なく、又、最も効果が多い。で、この方法によつて取扱ひうる所では、特に初期のものに對し、方面委員はその發見せし患者を治療所に送るやうにするがよい。

なほ、田舎や僻地に在る患者に對しては巡回精神治療所を設なければならぬ

(四) 方面委員の精神病者取扱に助勢しうる範圍はなかく多い。入院手續を取ることは方面委員の任務であるが、病院や醫師を患家に紹介し、それを説明

することも方面委員の任務となる。患家では、時に、病院の效能も性質も知らないから、これに對し啓發をしなければならぬが、これ即ち委員の任務である。正確妥當なる診断には醫學的なものゝ外、患者の住宅、經歷、近親につき調査し、これを資料とするのだが、かくの如き資料の蒐集及調査は委員の任務である。なほ、退院せし患者は一定期間監護して、病院の効果を全からしめなければならぬが、この任務に當るものも亦方面委員である。

結核患者 我國の結核患者は百二十萬人と稱せらる。結核豫防法によつて設置せられし療養所は東京、京都、大阪、神戸、横濱、名古屋、廣島、長崎の八市、及び福島縣に設置せられたもの總て九ヶ所である。

(一) 現今結核療養所として設置せらるゝ團體は總て二十三である。東京府六京都市一、京都府一、大阪市二、大阪府一、神奈川縣一、神戸市一、新潟縣一、千葉市一、名古屋市三、滋賀縣一、高知市一、熊本市一、宮崎市一、鹿兒島縣

一である。結核豫防法規によれば、内務大臣は療養の途なき結核患者のため人口五萬以上の都市に對して療養所の設置を命ずることが出来る。従業を禁止されたる患者、療養及生活不能のものに對しては、道府縣は生活を補給することを規定してゐる。

(二) 結核の治療は至難だと言はれる。結核に對しては藥物治療は、全然無効であるから、運を天に任せて、新鮮な空氣と、滋養食と、休養と、精神の平靜を保つやうにして全治を待つのであると言ふ。これに對し、丁抹の醫學者の中には藥物治療の効果を證明してゐるものがある。兎に角、結核治療の困難だといふことに異りはないから、出来るだけの療養をする手續をとつてやらねばならぬ。結核療養所に送れば満全であるが、収容力に限りがあるから、自宅治療もしなければならぬ。療養所で治療をすれば、空氣も食物も休養も遺憾はなくかつ、治療の外、教育と監護とを充分ならしむることが出来る。自宅治療は戸

外で安眠するやうにすれば効果があるばかりでなく、家族への傳染を防ぐことが出来る。けれども、自宅治療は醫師と巡回看護婦の監督がなければ危険である。

(三) 一度治つて職業に就く時が再び危険である。まだ體力も充分でないから正規の時間、しかも、他のものと、競争して働くことはできない。それかと言つて、結核であつたことを告ぐれば忽ち解雇せられる虞がある。かくの如き苦境にある前結核患者を復業せしむるといふことは困難なことである。これに對しては、特殊な労働の仕組みをしなければならぬ。米國で實驗せしところのものは、前結核患者の復業協會の企畫であつて、該協會では醫師や看護婦監視の下に患者は各命せられた時間働き、それを漸次遞増して行く方針をとつてゐる。それには、休息室、浴場及び食堂も附設してあり、労働によつて害を受くることのないやうしてある。この協會に働く前結核患者の三分二は二年間に全く健

康を恢復し、正規の労働に復することが出来るやうになつてゐる。我國には恐らくこの種の實驗の積れてゐるものもなく、従つて折角、病氣恢復のあかつきに就業によつて病氣再發の虞れあるものも多いであらう。よつて、方面委員中、醫師委員にあつてはこの種の對策につき各地適當なる考慮をめぐらされるやうにしたい。

(四) 結核の全治は困難だから自然豫防に努力することゝなつた。我國にも各地に結核豫防協會があり、これを連絡統一するものとして全國結核豫防聯合會がある。それに加ふる協會數四十三。日本結核豫防協會では印刷物の配布、展覽會、活動寫眞、講演、結核豫防協會設立の勧誘、結核豫防上必要なるべき法律制度の建議につとめてゐる。

結核豫防は患者の統制と抵抗力増進とによつてその目的を達する。患者の統制は患者を發見し、これを隔離することであるが、これに對しては一般に結核

の豫防診察を實行すればよい。學童を檢查することもその一方法であり、工場や商店でも定期に檢診することゝし、また、一般に檢診を受けるやうに懲罰すべきである。これと共に、飲食物の検査を勵行し、その製造及取扱ひに従事するものに對し檢診を施し、牛乳の消毒や、手拭及食器を共用することを禁じ、なほ法令によつて往來で唾を吐くことを禁止するやうにする。

健康増進による豫防に關しては、一般國民の體育をはかり、兒童に對しては夏期殖民や林間學校の設備を起し、住宅の改善や、収入の増加によつて營養をどるここの出来るやうにする。

豫防に關しては方面委員が協力しうる範圍は無論多い。

性病患者 我國には性病豫防を目的とするものに日本花柳病豫防協會がある財團法人であつて、機關雜誌の發行、性病相談所を開設してゐる。

性病の統制は不可能といつて宜い。フレキシネル博士が歐洲に於て性病の法

的統制を精細に研究した結果によると、法律によつてその統制を期することは殆んど不可能である。

性病豫防については、モット教育を普及深化しなければならぬ。その上、婦人の價値を増大しなければならぬ。恰も玩具のやうに見られる婦人を相手にして性病の蔓延を防止することはできるものでない。婦人の教育や、職業の範圍擴大や、その他、婦人の價値の増大は確實に性病を減縮するであらうこれ等の防遏について、方面委員の努力しうる範圍は少々ではない。

訪問看護婦は方面委員の職務遂行について關係があり、方面委員は訪問看護制を利用しなければならぬが、この事に就ては拙著「社會事業概論」を參照せられたい。

三 老衰者の取扱

老衰者取扱の精神 老衰者は出来るだけ人道的に取扱ふやうにしたい。老衰者に對しては、如何にして價値あり真と愛との宿舍を供給することをえんと焦慮することによつて、その取扱に歩を進めるやうにしたい。普通養老院送りといふことは、一種輕侮の意を含んでゐる。西洋ではなるべく侮蔑の意味がないやうにといふ心懸で、救貧院とか、共同勞役所だとかいふ名稱を廢止し、老齡者及病弱者收容所 (Home for the aged and infirm) といふやうな中性な名稱を用ゐてゐる。

併し、老衰者の取扱は寛に流るれば無論弊害が起る。また、老人はなかく苦情や我儘を言ひ、風儀の悪いものも多いから、放任することはできぬ。よつて、老衰者取扱の原則は真と愛とであるが、これと共に統制であるといふことを忘れてはならぬ。常に風儀を維持し秩序を保つ必要がある。愛護と統制とは老衰者取扱の右翼左翼である。

(一) 養老院については貧民の取扱のところでは説明したから、こゝでは單に附加的な説明を加ふることに止めなければならぬ。

養老院へ收容せずして、老人を養護する方法は無論院外救助である。院外救助とはその家庭に於て保護を加ふることをいふ。この院外救助を實行するとすれば、餘程綿密に調査もし、嚴重に監督もしなければならぬ。然らざれば、弊害百出するを免れぬ。老衰者の院外救助は弊害が多いけれども、養老院を開設しない地方に於てはこの方法を探るより外はない。養老院へはいる必要もないのに入れてくれといふ者もないが、院外救助の場合には、救助を受くる必要のないのに、徒らに金品の施與を受けやうとするものは非常に多い。綿密な調査を遂行せずして救助し、金品を施與することにすれば、忽ち濫救に陥り、弊害百出するにいたる。よつて、理想的に經營せらるゝ養老院の存在は濫救を防止し、みだりに施與をうけんとする乞食化の作用を防止することとなる。

(二) 收容する老衰者の數の多くなるに従つて養老院はその取扱に困難を感じるにいたる。かくの如き場合には、それを取扱ひうる數に分たなければならぬ。養老院に於ける老衰者の取扱ひうる限度を單位といふ。

小舎制取扱ひに便利な數に分つことは即ち小舎制 (Cottage system) を採用することとなる。小舎制とは養老院を取扱ひうる單位によつて分割し、その一單位づゝを小舎として運營することである。

小舎制には三室要るが、一室を管理室及事務室とし、一室を男子室、残り一室を女子室とする。小舎制は經費が嵩むが、老衰者取扱方法としては、養老院よりも優れたものである。こゝに初めて老衰者は眞と愛との惠みを受くることができ、人間らしき生活をすることができる。小舎制は家庭的情味を體現するに都合がよい仕組である。

老衰者取扱上の心得 方面委員諸氏はどういふ養老院へ入れゝば効果が多い

かと自問自答さるゝであらう。

養老院理想的仕組は左の如くである。

院舎は性別によつて區別せられて居なくてはならぬ。各室いづれも通風採光の充分なもので、清潔で、閑静でなければならぬ。院舎には事務室、宿舍、寢室(獨房とす)、居室、食堂、賄室が要る。部屋の配置は管理上の都合と性別とによつて決められる。普通、中央部の前部を事務室、院長室、待合室とし、後部を事務室、食堂、賄室とし、中央を挿んで、その一方に男子を、他方に女子を收容して監督に便する。建物は二階建とし、三階以上は經濟的だけれども、管理上不便だから避けるやうにする。

室の廣さは食堂を一といふ比例にすれば、居室が二、寢室が三といふ割合になる。

養老院で取扱ふべきものは單り老衰者である。養老院送りの老人を檢查すると

不具者や、精神薄弱者や、精神病者や犯罪人や、淫賣婦といふやうなものが紛然雜然混つてゐる。まづ、これ等の異分子をわけて、各その歸屬を定めなければならぬ。よつて、方面委員は何でもかでも養老院へ送ることを見合し、精神病者は病院へ、不具者は不具者收容所へといふ風に、各その歸屬に従つて送りといけなければならぬ。

これに次いで、性別及經歷別によつて、養老院に於て各別に收容して貰はなければならぬ。

四 兒童の取扱

女方面委員 兒童の取扱については女方面委員の擔當すべきものが頗る多い方面委員に婦人が任用せられてゐない現況では、恐く兒童に關する方面委員の職務は充分遂行することが出来ぬであらう。

児童の愛護 我國では、未だ、子供を物品として見てゐるきらいがあり、子供は親の所有物たるが如く、生殺與奪の權は一つに親の掌中にあるが如くである。小學校では、教師は恰も士官の如く兵隊たる児童に萬事號令を下す式でやつて居る。

大正十二年以來、我國に於ても、児童愛護運動が起り、愛護聯盟が生じたがもし、児童愛護思想の普及により子供を物としていなく、小さき人間として取扱ふやうにならなければ、児童幸福事業はその當然なる軌道を走り初めたと言へぬであらう。

方面委員の児童取扱ひの第一歩は児童愛護思想の宣傳及その普及である。

児童健康相談所 児童の保護については治療であると共に相談を必要とする児童健康相談所は寧ろ疾患を治療するよりも、各種の疾患に對し相談をする仕組みである。相談といふことは治療と同様必要であるが、我國ではたゞ治療で

あり、治療をしないと門前雀羅を張るを免れぬ。方面委員にあつては、児童相談所は治療所にあらず相談所たることを説明し啓發しなければならぬ。

この相談所たることを特志者が説明し啓發することは相談所を生かして使ふ上に大切なことである。貧民や下層階級にこそ相談所は利用して貰はねばならぬが、この種の人々は概して相談所の何たるやを知らず、また、これを知つても極めて冷淡であつたり、無頓着であつたりする。その上、下層民は子供に對する義務責任の觀念に乏しい。勞働婦人や下層階級の女房達は現在あるを知つて遠き將來あるを知らず、子供のため、子供の健康のため、遠慮あるにあらず。かくの如き状態に於て相談所を活用することは困難である。よつて、方面委員は自己の職務の一部として相談所の利用を促し、利用者の教化に力めなければならぬ。

チューグンドライヒ氏によると生兒の七割より八割までは相談を必要とする

さうである。これ等の子供を悉く相談所へ連れてくるといふことは困難である。もし、これ等の子供が多く相談所に来るといふことであつたら、國民の保健政策は著るしく改善せられるに違ひない。故障があり、相談に必要な子供は残らず相談所へ来るやうにするには、なか／＼の努力を要するが、この役割は一部方面委員が分擔しなければならぬ。

なほ、健康相談所では、方面委員は相談所の都合に従つてその事業を援助することができる。獨逸では、特志婦人が相談所へやつて来て診察の手傳をするさうである。これ等の婦人は兩親の職業や収入や子供のこれまでの疾患について聴きたい役割をする。我國に於ては、相談所の經費が不足することもあらう。或はその他の事情によつて女方面委員が特志者として相談所に出張し、この種の役割をすることの必要を感じることもあらう。かゝる場合に方面委員が出勤すれば都合がよい。

健康相談所の何であるやに就ては拙著「兒童保護問題」第九章を見ていただきたい。

衛生訪問 相談と共に家庭衛生訪問といふことが必要になつてくる。相談所へ子供を連れてくると云ふことは却々困難なことである。これ強制相談の必要ある所以である。強制相談とは好むと好まざるとに拘はらず、強制的に相談せしむるをいふ。勞働婦人の如き三十分より一時間、時に二三時間を費して相談所へ来るものは、第一その内職や勞働に差支へることゝなる。かゝる勞働婦人を相談所へ連れてくるといふことは強制か、熱心な勸告かによる外はない。これは女方面委員の仕事の一つとなる。

それに、訪問委員がない場合には、何處に發育不十分な子供があり、何處に病兒があるかを發見することができない。これ訪問委員の必要ある所以、最初英國では訪問委員だけで相談所のなかつたものもあり、また、相談所ばかりで

訪問委員のなかつたものがあつた。

訪問委員の家庭相談が妊娠前に行はれるとすれば嬰兒に對する乳の飲ませ方や、子供の取扱方や、衛生上の注意をすることが出来る。訪問委員とはどんなものかと言ふことに對しては「兒童保護問題」第十章を參照していただきたい。訪問委員の仕事は無論専門の人々の擔當である。けれども、我國の社會施設は未だ初期に屬し、萬事不充分であるから、充分なる數の訪問委員を置くことも出來ぬ場合もあらう。よつて一時、女方面委員が特志家としてこれを代行すれば便利である。英國などでも、最初訪問委員は特志家であり、有給吏員ではなかつた。そして、訪問委員が市内を巡察していろ／＼の事件を持ち歸り主任醫師に相談したものであるが、追々、訪問委員の仕事が複雑となり、有給な職業としての訪問委員が現はるゝに至つた。

我國の健康相談所は本年六月一日現在で六十五ヶ所である。その中、東京中

に十六、東京府に十、京都市に五、大阪市に二、横濱市一、神奈川縣一、神戸市一、名古屋市二、静岡市二、滋賀縣一、長野市三、長野縣四、宮城縣一、秋田縣二、金澤市一、岡山市一、岡山縣三、廣島市二、下關市一、和歌山市一、愛媛縣二、佐賀縣一、宮崎一、鹿児島市一である。

牛乳供給 英國のフォインズブライ牛乳供給所の目的は、(一)牛乳の絶對的統制(二)供給所及それに來る嬰兒の醫學的監督、(三)母乳をうることの出來ぬ子供に牛乳を供給し、(四)嬰兒の發育に關し牛乳が如何なる影響を與へるやを檢查する事である。

東京市には大正十二年以來二十一ヶ所の牛乳供給所がある。横濱市には横濱聯合婦人會によつて、神奈川縣乳兒保護協會が組織され、大正十三年七月以來、巡回診療を行ひ、市内に十七ヶ所の牛乳供給所を設けてゐる。

方面委員はこの種の施設を利用し、乳兒取扱ひの一端に供すべきである。

産院 方面委員は貧産婦があつた場合にはこれを産院に委託しなければならぬ。母親の死亡の多くは産褥熱であるが、これを防止するため産院を利用することとする。母體及乳兒の健康を保全するには、妊産婦をして妊娠中、分娩時及び産後に於て適當な診療を加へなければならぬが、貧産婦や邊鄙の土地では充分なる診療をうくることが出来ない。この目的に向つて産院が設置せられる我國に於ける妊産婦保護事業は百二十二ヶ所に上るが、産院と稱するものは僅に十ヶ所である。

乳兒院 乳兒院は三四歳以下の兒童を收容し、これに生理的、乃至、倫理教育的保育を與へる機關である。乳兒院の職分は労働婦人に對しその労働を助長するため、乳兒を預り、労働を續けることが出来るやうにしてやるのである。

方面委員が乳兒のある爲め労働することが出来ず、困つて居るやうな婦人を取扱ふ場合には、これを附近の乳兒院に預けてやるようにする。但し、我國に於ける乳兒保護事業は三百四十二ヶ所もあるが、この中、専門の乳兒院は僅に八ヶ所に過ぎない。よつて、各地の方面委員は労働婦人の乳兒を預る場所を見出すに困惑するであらうし、また、恐らく如何ともすることが出来ぬ場合もあらう。

嬰兒は生後四週間目より乳兒院に入れて宜く、三歳まで在院せしむるのである。乳兒院は小兒科専門醫の嚴重なる監督の下に經營せられなければならぬ。然らざれば、危険であるから、閉鎖すべきであり、又かくの如き危険なる乳兒院に子供を託してはならない。

なるべく母親の授乳を奨励しなければならぬ。よつて母親の仕事場附近に乳兒院を設けるか、乃至、工場に乳兒室を設け、母親をして定時授乳せしむるやうにしなければならぬ。煙草專賣局などでは、工場に乳兒室を設け、母親をし

て授乳せしむる仕組みにして居る。

托兒所 托兒所に托する子供は三歳以上學齡兒以下である。托兒所も亦勞働婦人の勞働を助長する機關である。

托兒所の目的は、(一)兒童心身の發達、(二)惡化防止、(三)婦人勞働の助長、(四)兒童保育の研究である。

托兒所では、學校のように規則正しく教育を授けなくても、親に代り、他の惡童と交り惡化することを防止し、心身の發育を促すようにすれば宜いのである。

我國の托兒所は大正十二年末既に百十七に達し、三府二十七縣に普及して居るから、いたる所この種の機關を利用することが出來よう。但し、母親が子供を預けて、怠惰に耽り、賭博をなす如きはその趣旨を没却するものであるから方面委員は托兒せし母親の勞働狀態を常に觀察するところがなくてはならぬ。

もし、違法なものを發見せし場合には、托兒所へ通告し、子供を返へすようにする。

學童預り所 學童預り所とは學童に對し家庭及學校教育を補足する社會教育的施設をいふ。我國には未だ學童預り所といふような社會施設は普及せられぬけれども、既にその必要を感ずるに至つてゐる。

學校前の兒童を保護する施設ができれば、次に、學童の保護施設ができねばならぬ。勞働家庭などでは、父母の監督なき兒童の教育所といふものが必要であり、家庭が貧困で、母親までが晝間勞働に行き、兒童を監督することの出來ぬ窮狀に對し、何等か施設するところがなくてはならぬ。これに對する施設即學童預り所である。

學童預り所では、男兒預り所、女兒預り所といふように性別にする。兒童を心理的に見ると既に十歳にもなる兒童には、性によつて精神的構造に差別が現

はれるからこれを混合して取扱うことは妥當でない。よつて、學童預り所は性別として組織する。學童預り所では體操や、唱歌や、修身や、讀方などを教へ復習練習もしてやるが、その教育的効果は寧ろ精神的道德的方面にある。兒童の道德宗教及美に關する情操を喚起養成するといふことが最も大切である。よつて、熟練な高潔な教師が最も大切となるが、學童預り所では、教師と兒童とが信頼關係を以て終始し、なるべく強制を用ひないようにする。學童預り所の教師にはこの要求を充たすが如きものを備用する。

孤兒 嚴密にいふ孤兒は兩親の死亡したものであるが、普通には兩親の一方が死亡した半孤兒、(Half-Orphan) 棄兒 (Foundlings) 置去兒 (Deserted or Abandoned Children) を孤兒と見做す。孤兒院では、全孤兒、半孤兒、棄兒及置去兒を取扱つて居るが、學問上、孤兒とは全孤兒のことである。

孤兒の處分は孤兒院に入れることによつて達成せられるが、我國には孤兒院

は總て百十三であり、一年間の經費百貳拾四萬九千貳百拾四圓に上る。併し、院内收容は個性と變化とを無視し、弊害があるから、小舎制又は分舎制を採用しなければならぬ。我國の孤兒院は大抵家庭制度を採用し一家族舎の收容人員を十名内外としてゐる。岡山孤兒院が廢止せられたので院舎制は全然よくないように考へて居るようだが、特殊なもの、乃至、即刻救助しなければならぬものは適當な家庭を捜す餘裕がない。かくの如き孤兒は院舎に收容する外途がなく、弊害があるからとて、これを無くすることは出来ない。

けれども、院舎制は無論理想的のものでないから、なるべく、家庭預りの方法を採ることにする。方面委員が孤兒を家庭預りとして取扱ふ方法は左の三つである。

イ、里預り、適當な家庭を求め、經費を負擔して里預けとする。この場合には費用は官公團跡で負擔するか、方面後援會で負擔するかである。

ロ、養子、孤兒を養子として處分する。この方法を探れば無論總て費用は養家の負擔となる。

ハ、就職、孤兒を何等かの業に就かしめて處分する。たとへば、商店とか、工場とかへ入れて、一定の賃金を雇主が支拂ふ約束を結んで、方面委員はこれを小僧なり給仕なりに住み込ませて處分を了する。

棄兒 育兒院 (Finderhaus) では、私生兒や棄兒を取扱ふ。育兒院若くは棄兒院といふものがなければ、私生兒や棄兒を院舎に收容して助けることが出来なけれども、この種の施設は稀有なるものであり、未だ、歐米に於ても發達するに至らず、既設のものは凡て經費困難に陥つて居る。何にしる、育兒院は莫蓮女を相手にするから、その經營も困難で、多く失敗に終つて居る。この頃大連で棄兒院を經營して居るものがあるが、三つ鐘を鳴らし子供を置いて行く仕組みださうである。かくの如き方法では莫蓮女の續出免れがたく、經營困難となる外はない。

我國には、明治四年布告の棄兒養育米給與方なるものがあり、行旅病人及行旅死亡人取扱中の携帶兒、準行旅病人の兒童に關する規定がある。迷兒は明治二十二年の内務省訓令によつて棄兒として取扱はれることになつて居る。棄兒養育米給與方は棄兒の預り人若くは貰受人に對し、滿十三歳に達するまで國費を以て一ヶ年米七斗を給することを規定して居る。この養育米は前月の下米相場を以て代金に換算して給與せられる。その外、棄兒及迷兒の保護に關しては府縣教育費より補給しうることになつて居る。

教育所に在る兒童の後見については明治三十三年法律第五十一號、勅令第四百四十四號、及内務省令第十一號によつて、公設教育所に在る未成年者に對してその所長後見を行ひ、私設教育所に在る者に對しては、所在地方長官これを行ふことになつてゐる。棄兒の戶籍については、戶籍法により、棄兒を發見したる

もの、若くは、その申告をうけたる警察官は、二十四時間以内に市町村長に申出で、市町村長これを受理して氏名を命じ、本籍を定むることになつてゐる。

育兒院については「兒童保護問題」第八章参照

精神薄弱者 英國では精神薄弱者を白痴、低能、魯鈍の三つに分けてゐる。

白痴とは生得的若くは幼時より精神的缺陷の甚しきもので、普通の物理的危険を防禦する能力なきものであり、低能とは生得的若くは幼時より精神的缺陷のあるもので、生活能力のなきものであるが、普通の物理的危険を防禦することのできるものである。魯鈍とは都合の宜い境遇に於ては生活能力のあるものであるが、生得的若くは幼時よりの精神的缺陷によつて、普通兒と同等な條件で競争することの出来ぬもの、若くは普通兒の如く自分を扱つて行くことので出来ぬものである。米國では白痴とは精神年齢二歳以上に發達せざるもの、低能とは三歳より七歳までのもの、魯鈍とは八歳より十二歳にいたるものであるとしてゐる。

精神薄弱者の取扱は非常に困難である。白痴低能者教育といふものは普通信せられる如く效果の著明なるものではない。併し、一時考へられて居たやうに教育の不可能なるまでもない。これまで、精神薄弱が根治せられたといふやうな例證はない。そこで、白痴といふやうな程度のもので、重大な缺陷のあるものや、危険なものや、家庭の厄介なもの、若くは、無いものは、院舎に收容するやうな手続きをとる。その中でも、教育の効果現はれ、社會に於て、多少生活の技能をあらはしうるやうなものは退院させることにする。但し、これを放つてをけば、到底、獨り立ちの出来ぬものであるから、この後の看護が必要である。これは方面委員の任務となる。よつて、方面委員は退院せしものに對し社會に適應するやうに面倒を見てやり、適當な職業を見出してやり、良友を選択することや、娛樂を供給することや、環境を整へることに骨折らなければならぬ。

それに、缺陷の著るしくないものは院舎に收容しなくても宜いから、特殊學校若くは特別學級の編成によつて教育するように方面委員に於て盡力されたい。羅馬や紐育では低能及白痴に對し勞働殖民の方法による實驗をして居るが、これは多くの場合自給といふわけには行かぬけれども、勞働により費用を補ふことが出来る。且つ、勞働殖民によれば環境を整ふことができ、精神薄弱者に好影響を與ふことができる。社會に復歸して宜いようなものに對しては勞働殖民地は教育所となり、改善の見込みのないものに對しては又保管所となる。

白痴及低能者の勞働殖民については「兒童保護問題」第十五章參照。

不良兒 不良兒とは成人が犯してもつて罪となるような反社會的行動をなすもので、俗にいふ盜兒のことであるが、それよりも意味の廣いものである。頑固執拗な惡癖の所有者で、院内保護を要するようなのは凡て不良兒である。不良兒とは、十六歳、十七歳、十八歳以下で法律違反の行爲をなし、矯正するこ

どの困難なもので、惡友と交り、怠惰な盜心のあるものである。

不良兒は、(一)感化院、(二)矯正院、(三)家庭委托、(四)監獄によつて處置する。そこで、方面委員は強盜殺人及強姦の如き成年が犯して以て最も重しとする罪科を犯したものは監獄へ送る手續をとる。窃盜毆打創傷といふが如く中位の犯罪をなしたもので、遺傳的不良に傾いたものは少年審判所送りとなし、矯正院へ收容する手續をとる。もし、矯正院へ送る程悪いものでなく、主として境遇より惡癖の來て居るものは感化院へ委托することにする。これ等の鑑定は少年鑑別所、乃至、少年教育相談所の仕事である。

不良兒はなるべく、家庭委托に付すようにしたい。家庭委托に付すべき不良兒は、風儀の悪い家庭より出たものとか、保護者がないために多少不良に傾いて居るとかいふ普通兒と余り異らないやうな極程度の軽いものである。方面委員は出来るだけ不良兒を家庭委托に付する方針をとらるゝようにしたい。

感化院や矯正院へ不良児を入れることゝしても、その收容力極めて少ない。たとへば、京都府では約四千名の不良児があるが、園部の感化院たる棋陽學校では僅かに五十名の定員になつて居り、大阪府の不良少年は一萬三千名であるが、修徳館や浪速少年院の定員を加算しても、不良児總數に對し心細いこと限りない。かたゞ、不良少年處置は主として家庭委託によらなければならぬ實狀にある。但し、如何なる不良児でも家庭委託に付することの出来ない所以は既に述べた。また、家庭といつても、如何なる家庭でも不良児を委託することのできるわけのものでもない。委託家庭の條件は左の如くである。

- (一) 道徳的國民的及觀念の發達せるもの。
- (二) 正當な結婚によるもので、道理と慈愛との宿るもの。
- (三) 相當の財力あるもの。
- (四) 同居人のないもの。

- (五) 閑靜なる地域、郊外若くは田舎に在るもの。
 - (六) 不良少年若くはそれに類するものゝないこと。
- かくの如き家庭を見出した場合、初めて不良児を委託するのである。

五 失業者の取扱

失業の意義 勞働の出来ないものは縦へ仕事がなくとも失業者とは言はれない。また、仕事をする氣のないものは、仕事がなくとも失業の範圍に入ることではない。乞食や怠惰者は仕事がなくとも失業者とは言はない。それ等の者は勞働意志のないもので、仕事があつても業に就くことを肯せない。それで、乞食や、浮浪人や、病人や、老人や、白痴低能者や、不具者などは、いづれも仕事がなくとも失業者ではないといふことになる。そこで、失業者とは次の如きものとなる。

失業者とは、身體健全にして、労働能力と労働意志とを有つけれども時の相場による賃金によつて、自己の能力に適する職業を見出しえざるものである。

個人的失業の救済 失業に(一)個人的原因と、(二)産業的原因とがある。

個人的原因とは、主として労働者自身に存するものである。たとへば、教育の不足によつて失業することは労働者自身に存することであり、疾病、負傷、任意退業なども亦さうである。

この種の失業対策としては、労働者の地位の改善や、労働条件の上進である方面委員が労働者の教育を高むるような手段をとり、労働者間に衛生の觀念を普及し、住宅の改善を促すような措置を講ずれば、個人的原因による失業に對しては減少する手段をとつたことになる。

産業的失業の救済 産業組織より來る産業的失業は、(一)産業の循環的不況(二)労働需要の季節的變動、(三)自由労働者の存在、(四)技術及産業組織の進展による

産業過程の變化より來るものである。産業的原因より來る失業救済は、(一)公共事業の調節、(二)労働紹介、(三)失業保険の三である。方面委員の仲介による失業救済は先づ労働紹介によるものであらう。但し、職業紹介所は職業の乏しい不況時に職を與へうるものではない。職業紹介所は就職に對し萬能ではない。職業紹介所は職業のある場合にその需要供給を調節しうるのみであるから、現今の如く不景氣の折りには紹介所につき職を與へんとするも無効に終ることが多いであらう。

少年職業紹介 少年職業紹介事業も亦近時漸く發達の機運に向ひ、大正十四年七月八日内務省社會局及文部省普通學務局より地方長官宛依命通牒を發し、小學校と職業紹介所とが提携して、小學校卒業の兒童に對して職業の選擇指導をなし、就職に斡旋することゝなつた。少年の就職については、個性と技能とに適合するが如き職業の選擇をするように指導しなければならぬ。少年職業指

導機關としては、各種少年職業の状況に通牒する職業紹介所員と、教育家、醫師及、少年保護に參與する社會事業家を以て委員會を組織することゝなつてゐる。

六 浮浪人の取扱

季節的労働者 浮浪人は五の種類に分れるが、季節的労働者はその一つである。季節的に労働をなし、仕事のあるところへ移動して行く浮浪人は隨所にあるが、節約する習慣のものは働かない季節でも生活して行く。けれども、たいていは浪費するから仕事のない季節には困窮するを免れない。

移動的日傭労働者 鐵道や電車の布設や、製材や、收穫作業に従事し、轉々として移動するものは移動的日傭労働者である。米國カリフォルニア洲で調べたところによると、移動的日傭労働者の四分三は獨身者で、何等職業上の習練

を積んでゐない。例外を除いては、たえず轉々流浪して定住といふものがない。その中、三分二は定職を有つ氣の全然ないものである。五分三は少くも六年間日傭労働者たりしものである。五分二は親近者と音信不通のものであり、五分四は扶養するものがなく、四分三は酒飲みであり、四分一は精神的薄弱者である。

移動的非労働者 全く仕事をする氣がなく、轉々諸所を流浪し、行く／＼食を乞ひながら生活するものは浮浪人の一種たる移動的非労働者である。この種の浮浪人の中には、身體並に精神に缺陷を有つものが多い。移動的非労働者のうちには絶えず迂路付きまわるもの、ある季節や時期に移動するもの、定期的に移動し、その間多少定着するものがある。この種の浮浪人は氣をつけて職業を回避するやうに見え、仕事といふものから逃げまわつてゐるようである。そして、氣樂に目的なしのぶらつきを續けて暮して行く。

非移動的日傭労働者 この種の浮浪は非移動性のもので、移動する活力が消盡したものゝように思はれる。流浪する精力も活力もないものゝようで、その中には、精力の消盡した類齢者が混つてゐる。非移動日傭労働者は不定期に不熟練な奇妙な労働に従事する。この種の労働者は活力がなく、一所に定着して周囲の人々に調和する能力のないものゝようである。

バム この種の浮浪人は浮浪中の最下等のもので、酒飲みや、薬剤耽溺者や老齢で仕方のない失業者などが含まれ、あふれ者の中最も忌な氣の毒なものである。バムは定着的浮浪人で、安宿と監獄との間を往來するもの。袖乞いや、他の浮浪人の落ちこぼれで生きてゆく。

浮浪癡 定住せず、諸所を歩きまわる性癖はその境遇からも来る。規則正しい労働のないために失業し、その期間が長くつゞくと仕事を見付けるために諸所を流浪する。そして、行く／＼袖乞いをもする。仕事にありついても、その

仕事たるや不熟練労働に属するもので、賃金は安いし、動物のように慘酷に取扱はれるし、労働時間長く、到底自信や自尊など發達しようもない。それがためやけになり、酒も飲めば賭博もするといふことになる。そこで仕事に興味なく、雇主の損得など關つたことでなく、忽ち職に就き忽ち職を離れる。どんな仕事でもよく、仕事の種類や性質などに頓着しない。かくて、浮浪人は一般に社會に反感をもち、社會に信頼せず、節約や勉勵の精神を滅失してゐる。

食物給與所 獨逸に於て、一八八〇年代に實施せられた浮浪人對策は食物給與所 (Naturalverpflegestation) であつた。當時、浮浪人の對策はいづれも労働を條件として居たから、食物給與所に於ても、労働をすることを條件として食物を供給することゝして居た。食物給與所は職業紹介所と連絡をとることを原則とし、全國一樣な手段と方法によつて救助することゝした。中央食物給與所では左の規定を設けて、浮浪人を救助した。

- 一、食物給與所は浮浪人を絶滅する目的を以て開設するものとす。
- 二、この目的を達するため、全獨逸國に一樣なる法規をつくり、純一なる取扱をなす。
- 三、各地の食物給與所は孤立せず、彼此連絡をとり、統一することを原則とす
- 四、食物給與所に於て救助せらるゝものは労働能力あり、且つ、労働をなすものに限る。
- 五、自活しうるものは全く救助より除外せられる。これに反し、困窮するものは何等の條件なく救助せられる。
- 六、飲酒するもの、破廉恥なるものなどは救助より除外し、これを警察へ引渡す。
- 七、食物給與所は職業紹介所と連絡をとるべきものとす。
- 八、食物給與所には監督を置き、浮浪人及乞食に道德的宗教的感化を與ふる。

労働殖民 労働殖民は浮浪人をして労働の興味を喚起し、労働力を恢復せしめ、食物と住居とを與へ正常なる人間となすことを目的として創設せられた。獨逸の浮浪人労働殖民地は最初労働意志のある失業者のみを入れて居たが、その後各種のあふれものゝ集屯所となり、無職な半病人や、飲酒家や免囚などが入つて來た。労働殖民に入つたものは、仕事の見付かるまで労働することゝし職業紹介所と連絡をとることゝなつてゐた。労働殖民では、悪性なものと然らざる浮浪人とが混ることとなるので、これに種別を施すようにしなければならぬ。

宿泊所 浮浪人に對し、宿泊によつて保護を加へ、その性癖を矯正する方法をとることができる。この浮浪宿泊所は定着せざる浮浪人に對する施設であるが、これと共に、都市に來り職業を求めんとするものゝ爲めに、また、地方より都會へ流入するものゝ爲めに無料宿泊所を設けて保護を加へる。宿泊保護は

僅少の料金を以て、若くは無料を以て宿舍を供給する。獨身労働者、失業者などは木賃宿又安宿に宿泊して放縱なる生活をなすを以て風紀上衛生上弊害尠からず、かくの如き弊害を除去するため、宿泊所を開設するに至るのである。我國に於ても、この趣旨に基き、明治三十四年東京本所區に無料宿泊所が設けられた。爾後、各地に宿泊所開設せられ、大正十三年末に於ては公設宿泊所二十九、私設六十一で總て九十を數へ、一ヶ月平均宿泊延人員十六萬二千四百四十人に上つた。宿泊料は一泊七錢乃至三十錢であり、無料のものもある。昭和二年五月現在の宿泊所總數は百四十四個所である。

宿泊所には職業紹介、簡易食堂、娯樂及修養設備、人事相談、法律相談などが附帶し、宿泊者の便利を圖り、かねて、その向上を促すこととなつてゐる

七 矯風問題の取扱

飲酒の絶滅 方面委員は社會の氣風を改善し、病根を杜絶するために、禁酒戦をも勵行しなければならぬ。飲酒は衛生上、道德上に及ぼす影響が顯著であり、また、これによつて犯罪を誘導することゝなる。この社會病を絶滅することは社會改良家の任務であり、極力努力しなければならぬことである。然るに、我國の方面委員が禁酒の聖戦を起された例證は未だ乏しいように思はれる。青年の間に飲酒の惡風の蔓延して居ることは愕くべきであり、未成年者禁酒法の効果は、寧ろ乏しいと言つて宜い。飲酒の如き社會現象を法のみによつて絶滅することが出来るとは考へえられない。これに對し、又教育によつて改善する方法をも提出しなければならぬ。埃太利のウインクラー教授の調査によれば百人の實科中學生の中三十四人は毎日ビールを飲み、二十八人は毎日葡萄酒を飲み、七人は時々コンニャクやシユナツカスの類を飲用するといふ。我國の青年の中にも飲酒の惡風が蔓延して居るのは顯著な事實であつて、飲酒の機會は

實に多い。方面委員に於ても、飲酒の害を説示することや、少年禁酒法の勵行をはかることに盡力ありたいものである。

獨逸の調査によると、小學兒童七千三百三十八人中、全くアルコールを飲用しないものは僅かに百六十六人であるといふ。これは實に愕くべきことで、僅かに二・二六プロセントだけがアルコールを飲用しないのであり、百人中九十七人以上の小學兒童が飲酒してゐるのである。かくの如き飲酒率が我國に當てれるものとも思はれないが、小學兒童は飲酒しないものと考へるのは全然誤解であり妄想である。然るに、アルコールの害は年齢に反比例するから、兒童の飲酒は身心に甚大なる害を與へるもので、國民保健上由々敷大事である。

歐米諸國では、少青年に對し、學校に於て、特殊學科として、或は他學科教授の際アルコールの害毒を説明してゐる。特別な學科としてアルコールの害について説明してゐるのは、米國、佛蘭西、白耳義、諾威、瑞典であり、これを

他學科教授の際説明する主義を採つて居るのは獨逸である。獨逸では、例へば理化學教授の際に、アルコール成分の説明をなし、生理學教授の際にアルコールの人體に及ぼす害毒について、算術教授の際にアルコールの消費高と國富との關係について説示して居る。

我國に於ける義務教育終了者たる小學卒業兒童は國民として社會に出づるに方り、日常必要な知識を有ち合せないことが少くない。アルコールの害毒などもその一つであるが、小學教科書に飲酒について説示したところのものがないのである。

よつて、方面委員に於ては小學校に出張されて小學兒童に、中等學校について青年に、それ〴〵酒害について説明せられるようにしたい。

花柳病の撲滅 花柳病は文明病と言はれてゐる。現今、文明國では花柳病によつて苦められて居ないものはない。社會淨化のため、方面委員に於てもこれ

に力を添へられたい。

花柳病の取締や統制といふようなことは有効なものでないことが分つて來たフレキシネル氏が歐洲の淫賣婦について研究した結果によると、取締といふことは餘り有効な方法でない。淫賣は現代の社會現象又現代を背後としてゐる深刻な社會病である。現代の淫賣は過勞文明の所産であり、工業従つて器械の産物であり、結婚しえざる中等階級の要求により、年齢の長じて獨身なる學生や兵隊の發生による（このことに就ては拙著「現代人の戀愛思想」第二章參照—京都、内外出版印刷株式會社發行）よつて、これが撲滅策も亦それに照應したものでなければならぬが、獨逸のプロツポ氏はこれについて左の如く言ふ。

社會的認識と、社會的責任感と、庶民教育の深化と、婦人運動を通じて婦人の價值増大と、勞働運動による個人的權利の増加とは、今に於て、淫賣を新方向に一轉せしむるであらう。

よつて、社會的責任感を深め、庶民教育を普及徹底せしむるが如き手段をとり、婦人の價值を増大するが如き方法をとることが、やがて淫賣問題の解決となるわけである。

婦人ホーム 我國では、墮落婦人を保護すべき機關たる婦人ホームは基督教團體以外には餘り注意されてゐない。救世軍東京婦人ホーム、横濱婦人ホーム大阪婦人ホーム、神戸婦人ホームなどといふものは、何づれも基督教の經營にかゝるものである。しかも、その普及の範圍が極めて狭小である。英國では婦人保護機關は災厄保護所、母親ホーム、常住館、一時宿泊所、旅館、飲酒家ホーム、花柳病患收容所、豫防館に分れて居る。

我國に於ては、婦人の保護機關は今後各地に企畫實現されなければならぬ。大都市殊に船着き場には婦人ホームがある。これは遊覽地、遊覽都市にはなくてはならぬ施設であるが、いたるところ遊覽地にこの施設がない。現時に於ては

婦人矯風會や救世軍を除いては婦人の保護に任ずるものゝない慘狀である。よつて、先づ、方面委員を煩はし、各地にこの種婦人保護機關の實現を企劃しなければならぬ。我國の社會事業界は婦人の保護に極めて冷淡である。

八 教化問題の取扱

國民教化 國民教化とは一般國民の精神的陶冶を行ひ、社會生活の目的と任務とに堪えるものたらしむるにある。社會變遷の結果として、不利なる地位にあり境遇にあるものと、然らざるものとの間に懸隔ができた。よつて、これを緩和する社會教化の方法が行はれなければならぬ。社會公共の利益を増進することは愈急を告げつゝあるから、或は愛國心よりすると、或は國民の福利を増進する見地よりすると論なく、等しく國民教化によつて國の進運に伴ひ、國民の智能を高め、修養を進めなければならぬ。

社會の進運に伴ひ、それに追従し適應することは益々複雑多岐となり困難となりつゝある。成人教育も社會教育もかくして次ぎくゝに現はれて來たが、これ即ち國民文化を擴張する形式たり運動たるに外ならぬ。

通俗講演や、博物館、動物園、植物園などを起すことは、無論、國民教化である。

民力涵養 大正八年三月、内務省に於ては、戦後、時局の變轉に際し、國民思想の健全なる發達と、國民生活の安定を圖らんが爲め、民力涵養を提起するに至つた。

民力涵養は五大要綱よりなり、(一)立國大義の闡明、(二)主憲思想の涵養、(三)日新の修養、(四)相互共濟、(五)勤儉力行、即ちこれである。この趣旨を實行するために、中央には專任囑託を置き、地方廳にも主任吏員を設置し、これが實現を期し、もつて今日に至つた。

勤儉強調 大正十三年前後に於ては、戦後財界の不振なると、關東大震災があり、國をあげて生活困難に陥つたから、勤儉強調運動は多少の反響があつたやうに見える。併し、節約運動の絶頂は大正十二年と見なければならぬ。

内務省では、大正十一年九月十三日訓令を發し、節約運動を開始せしめた。この時、恰かも國民生活の不如意なることが痛感せらるゝに至つたので、消費經濟に節約を加へ或はこれを合理化する思想を生じた。これによつて内務省の訓令は時期に投じ、全國を通じて多大の反響あり、もつて、大正十二年に至つた。爾後、勤儉強調の聲徒らに大にして、奢侈の風改まらず、益々國を擧げて輕佻浮華に陥つてゐる。

青年事業 我國に於ける教化運動中最も顯著なる發達を遂げたものは青年事業である。大正十四年三月の調査によれば、市町村青年團數六千二百六十三、團員數二百六十七萬人であり、女子青年團數一萬二千六、團員數百三十四萬人

である。大正十四年にいたり我國の最初の全國青年會館たる日本青年會館が竣成した。

形骸に於ては、我國の青年事業はかくの如き盛觀を呈するに至つたけれども我國青年事業の主義及理想は單に小學教育の延長であり補習教育であるに過ぎない。この事については拙著「現代の青年運動」に詳細述べてをいたから、それを参照されたい。

青年の造成は知識を養成するよりも寧ろ性格をつくることである。知識は性格の驅使によつて、はじめて其效用を發揮するのみ。偉大なる學者は知識の雄者といふよりも、寧ろ意志の發現であり、性格の開現であるまでいある。堅固な意志が前提をなすにあらざれば、雄大な學的構造は到底實現することはできぬ。性格の卓越して拔群なるがために國內をして世界をして驚かしむるが如き知識を開拓するのである。青年に於てもこの事は同一である。現時に於ける我

國の如く知識偏重の教育では、知識はあつてもこれを實行に導く動力がないような輕薄な無力な青年を造り出す外はない。それに、その知識さへも上滑りのするもので、戰鬥力のあるようなものではない。

我國青年事業に於けるこの弊害を匡正するものとして一層情意教育を強調しこれを青年に加へなければならぬ。これ、今後の教化運動として重、かつ、大なるものである。

公民大學 高等學藝の國民化といふことは普通選舉實施の今日特に重大なる意義のあるものでなければならぬ。

普通選舉は國民の政治的常識を基準として與へられるものであるが、その上國民たるものは何人も高等なる學藝を修養する権利のあるものと思はなくはならぬ。これに應じて、公民大學だの文化大學だのが提供されるのである。公民大學運動は我國にも波及し、京都府の舟井文化大學、滋賀縣の浦生公民大學、長

野縣の自由大學、岡山縣の文化大學などいふのがそれである。併し我國の公民大學運動は眞に民衆の要求に従つて現はれたものでないから、忽ち現はれては忽ち消える浮遊の如きものである。民衆が高等なる學藝を要求し、高等なる學藝が獨り精神貴族たる學者や學生のみの間に分配せられるのは不都合であるとする思想が生ずれば、公民大學も忽ち現はれ忽ち消えるようなことはあるまい。たゞ、名士の顔が見たいとか、一寸行つて虚榮を張らうとかといふようなことでは、到底、永續すべきわけのものではない。

文化の要求は人間性の開拓をなす熱情より發するもので、職業をうるといふが如き功利的なものではない。我國民が教育を弄して、これを職業にいたる手段となす間は眞に文化の要求なるものは現はれない。國民教化運動者は思ひをこゝにいたし、有爲善正なる國民の造成を目標として青年を養成しなければならぬ。

この項に關しては「現代の青年運動」參照

九 融和問題取扱

融和問題 少数同胞問題といふものが大正十二年前後より喧しくなつて來、同年京都に水平社が結成せられ、愈融和問題は全國的のものとなつた。融和に關して中央及地方に於てもその解決に盡力し、大正九年府縣の地方改善に對し國庫よりこれと同額の補助金を交付することとなり、大正十年には、京都府外十一府縣に國費を以て専任職員を設置し、講演講習を開催して趣旨の普及を圖り共同浴場、地區整理、託兒所、地方改善委員等を設けて、着々問題の解決を圖るにいたつた。

融和事業 大正十二年以降、十個年計畫を以て、地方整理案を樹て、公共團體當該地方改善地又は融和事業團體に補助金を交付し、まづ、改善の最も急な

りと認めらるゝ二十府縣二十個所を整理することとし、もつて、今日に至つた。奨學にも意をいたし、少数同胞の子弟に對し、義務教育以上の學校へ入學することを奨勵し、修學の資力なきものに對しては國庫より學費を給與して、中等學校に入學せしむることとした。かくして大正十四年度に於ける中等學校奨勵者五百七十二人、専門學校奨勵者七十人に達した。

融和事業團體の結成によつて融和事業を促進することも着々その歩を進め、昭和二年五月現在に於ける融和事業團體の數は五十七に達した。中央融和事業協會は事務所を内務省社會局内に置き、因襲的偏見の除去、融和事業の聯絡、融和事業の助成奨勵、融和講習會、融和事業の調査研究を目的として全國的活動をなし、融和事業の先鋒となり、かねてその統率者たる役割をつくしてゐる。その外、東京には、帝國公道會、聖訓奉仕會、相愛會があるが、有馬頼寧氏を會長として活躍せし同愛會はその後解散して中央融和事業協會に合併せられた

京都府には、京都府親和會があつて、會議、講演、講習、幹旋、紹介、調停、生産資金融通、融和助成、育英、副業獎勵をなし、融和事業團體中出色の成績を擧げてゐる。その他、京都には一如會、眞身會があり融和事業に盡瘁しつゝある。兵庫縣には清和會があり、奈良縣には大和同志會、滋賀縣には自治協會鳥取縣には一心會、廣島縣には一心會、和歌山縣には同和會、高知縣には公道會、愛媛縣には善隣會があり、夫々融和問題解決に盡力しつゝある。

大正十四年度に於ける融和事業團體数は二十三であつたが、昭和二年に於ては、五十七團體に増加して居るところを以て見れば、府縣に於て融和事業は重要なる社會事業となり居ることを知るに足る。

啓蒙及宣傳 第一期の事業としては啓蒙及宣傳であつた。中央融和事業協會を始め、府縣融和團體に於ける啓蒙、宣傳運動は極めて活潑であつて、講演、講習、文書宣傳など隨所に行はれ、國民をして融和問題の性質、趣旨、及その

喫緊事たるを知らしめ、今や、充分なる効果を收むる程度に達し、今後融和事業の主力は他に轉じなければならぬことゝなつた。併し、啓蒙及宣傳はこれで打ち切りといふのでは無論ない。

融和の必要なる認識を得ても、融和問題の性質は未だ充分明確に提示することはできない實狀にある。融和問題といつても、その本質の何なりやは、學者によつて研究の發表せられたものがないから、今のところ、常識以上のことは分つて居ない。啓蒙と言ひ、宣傳といふことも、實は融和問題の研究が出来上つてから舞臺に上るべきであるが、これまでのものは、この順序をふまず、唯その必要なる所以、言はゞ不合理な差別は不都合だといふことを宣傳せしに止まる。これは無論大切なることに相違ないが、ホンノ初期の事業であるに過ぎない。よつて、これより一步を進め、理論構成に基き、明確に融和問題の性質を分析闡明し、よつて以つてその方法を提示するに至り、初めて有效なる解決

を遂行することが出来る。そこで私は理論構成といふことを以て第二期の事業であるとする。

融和の理論構成 これまでと雖も、融和に関する理論構成がなかつたわけではない。けれども、これまでの理論構成は断片的なものばかりである。眞の理論構成は融和を全體として基礎づくるが如きものであり、體系をつくるものでなければならぬ。たとへば、醫學といふものは眼の障害を研究するとか、耳の疾患を調べるとかいふやうなものでなく、疾病そのものを全體として研究し、これを法則につくり、これを體系にまとめることによつて成立する。融和の理論構成も亦断片的部分的なものでは仕方がないから、融和を全體として研究し、これを體系にまとめなければならぬ。

これまで多少歴史的な研究といふやうなものはあつたようであるが、融和原理それ自づからの研究といふものがなかつた。そこで、今後、融和原理を可能

ならしむるような、社會學者、經濟學者、法理學者などの理論構成に参加することが必要である。

今日、これ等の學者の中、融和原理の研究に着手し従事したものがあるかと言へば、未だ皆無と言つて宜い有様である。かくの如くにして、いつまでたつても、融和の性質が解らず、たゞその急を訴ふるに過ぎないのであつて、失當といふ外はない。けれども、我國民殊に社會事業界に於ては研究といふやな基礎的なことに理解をもつ人々が少ないようである。まわり道は畢竟早道であるけれども、この理がどうしても分らぬので困る。

私は第二期を以て融和の理論構成時期とする。一日も早く、第二期に入らなければならぬが、融和事業に參與する人々のうちに先づこの種の理解が開拓されなければならぬ。

融和の方法 これまで融和の方法として、(一)分散主義と、(二)一時的接觸主義

と、(三)隣保事業といふものが提出せられた。これ等の融和方法は融和原理によつて、確定したものではないから最後に提出せらるべき方法であるかどうか分らぬ。たゞ、これ等の方法によつて、融和を圖るといふことは未だ理論構成のない時期には止むを得ないことで、やがて、理論構成が遂行せらるれば、別の方法で融和を圖ることとなるかも知れぬ。

分散主義と、一時的接觸主義と、隣保事業との中、隣保事業による方法が最も優れたものである。

分散 分散によつて融和を圖るといふことは、少數同胞を分散し、一般同胞と混在することによつて、その解決をはかるといふ義である。この方法は一見有効のやうであるが、混在したものは、早晚再び分離するといふことになるから、分散は畢竟愚策といふ外はない。猶太人は他人種と分離して孤獨な生活をして來たが、他人種に混在するといふことに成功した例がない。猶太人が孤獨

な生活を送るに至つた次第は、他方のためであるが、また、自からこれを選んだ爲めでもある。猶太人にあつては、隔離生活をして居ることが、宗教的儀式や食事の様式を保存するのに都合がよい。猶太人の職業は所謂異邦人のものと異つて居るが、これは他人種に許されない職業が猶太人に許されたからである。他人種には、交替をすることや、兩替は許されなかつたが、猶太人にはこれが許されてゐた。その他、言語や風俗が異ふために、他人種と隔離して住む方が猶太人に便利であつた。これ等、宗教、職業、風俗、習慣、言語などの差異によつて、猶太人はそれ自から集團をつくり、生活する方が他人種と混在するよりも便利であり快適でもあつた。宗教、生活、風俗、言語の同一といふことは内部生活に溫潤を與へ、猶太人は商業より歸り、自己の集團へ入り込むと、一種名状すべからざる家庭的の溫潤を味ひ同胞に接觸する喜悅をもつことができ。こゝで、猶太人は同一の言語を使い、同一の習慣に接し、如何に他人種の

間にあつて輕侮され酷待されて居ても、自己の集團に歸ると涙は拭はれ怒は柔げられた。かくの如く自己の集團を愛着するはそこに社會的な經濟的な關係があるからである。それ故、單に分散が望しいからとて猶太人は他人種と混合するものではない。

私は少數同胞を分散することが好いか悪いか知らぬ。たゞ私は猶太人の例をとつて見ても、分散が望しいから分散主義をとるといふやうな根據のないことは無効であると思ふ。少數同胞と猶太人の場合が同一であるかどうかも分らぬが、たゞ、何等の根據を提示せずして、分散が望しいからとて、分散するも何等の効果はない。分散はかくの如き、畢竟寸效のない愚策である。

一時的接觸 次に私の謂ふ一時的接觸による融和方法が提起せられる。一時的接觸によるものは、協議會とか、茶話會とか、懇談會とか、融和會とかいふやうな一時的に接觸することによつて問題の解決を圖らんとするのである。接

觸によつて融和にいたることは我々の日常經驗するところである。勞資の融和は資本家と勞働者との接觸によつてその實現を見るべく、上流社會と下層社會との理解は接觸によつてその目的を達することができる。見解の相異は紛争の根源である。誤解は紛議と争闘にいたるが、多くの場合、接觸するにいたり融解する。

これと同じく、一時的にでも接觸すれば、多少融和にいたるは明かである。併し一時的接觸によつては、私の所謂物理的接觸が行はれるに過ぎない。すなはち、手と足との相摩するといふやうな作用を生ずるに過ぎないから、一時的接觸によつては、心と心と、乃至、魂と魂とが結ばれるといふやうなことはない。この種の接觸を私は心理的・道德的接觸と言つてゐる。更らに、これが理想を掲げて接觸するにいたれば所謂人類的接觸となる。接觸によつて、融和にいたる途は、物理的接觸より心理的・道德的接觸に進み、遂に人類的接觸に究るの

である。

然るに、心理的・道徳的接觸や人類的接觸は一時的に接觸するに過ぎない協議會や茶話會や懇談會によつて實現しうることはない。これは常時接觸の機能をもつものによつて、初めて可能となる。これ即ち隣保事業により、更らに隣保館によつてある。

隣保事業 私は隣保事業を次の如く定義する。

隣保事業とは、長兄としての機會の優者が隣人の觀念により、小弟の集團地へ入り込み、心理的・道徳的接觸を通じ、協同作用により、當時の文化的水準を目標とし、小弟の人格的發展を促し、かねて、社會全般の福利を企圖することである。

隣保事業には「入り込む」といふ觀念があるが、この入り込むといふことはデニンソンの「バンドと肉との施與は單に貧救院の仕事を代辨するだけで全く無効

である。私は眞の救済は上流階級に屬する人々が實際的接觸を通じて、同胞の不幸を知り、彼等に改良の必要を覺らしむることである」といふ意である。小弟の地域へ入り込み、互に接觸することによつて融和にいたるもの即隣保事業形式である。この入り込み、接觸することによつて、常時接觸の機能たる心理道徳的な交感作用が起り、よつて以て、融和の實を擧げうるのである。隣保事業は平等の觀念によるものであるから、私は「機會の優者」といふ文字を定義のうちへ入れてゐる。長兄となり小弟となるは偶然のことで機會によるのであるとする。そして、小弟をして向上させるに當り、協力以て向上する形式をとるこれが平等の觀念による思想である。最後に隣保事業の目的は、個性の發達及完成と、共同的社會改善とである。

これによつて、隣保事業のうちには八の觀念の含れることが分る。即ち、(一)社會化されたる隣友の觀念、(二)殖民による改善的方法、(三)水準文化に到達する

要求、(四)協力による目的實現、(五)長兄と小弟との觀念、(六)機會均等の觀念、(七)個性の發達及完成、(八)共同的社會改善、これである。

隣保館 常時接觸は隣保館によつて行はれる。然るに、我國の隣保館の分布は極めて狹少である。全國を通じて、隣保館は僅かに四十二あるのみで、その中、公共團體經營のもの五、私設團體經營のもの三十七である。その分布は二十一として、東京で、半數以上を占め、これに次ぎ、長崎、愛知、福井、大阪市であり、未だ、我國に於て顧られざる社會事業の一つである。

融和問題の聲喧しきに似ず、隣保館の普及かくの如く狹少なるは不思議な現象である。よつて、我々は全國の方面委員諸君に對し、各その任地に於て、隣保事業の提唱及實現に盡力されんことを希望せざるをえぬ。

隣保館は小なるものとして企畫すべきである。私は小隣保館といふものを提唱しつゝある。堂々たる大隣保館には館長室だの待合室だの事務室があつて、

兎角形式的官僚的に流れ易く、ために親密な接觸を防げ、融和の實を擧げがたい。よつて、私は自由に親密に接觸しうるが如き仕組みの小隣保館の企畫實現を慫慂する。

隣保館の事業 隣保館に行はれる事業は左の六である。

- 一、教養及修養
- 二、隣友團體
- 三、娛樂及遊戲
- 四、經濟的福利
- 五、社會改良
- 六、研究及調査

教養及修養により獨立自助の人間をつくり、隣友團體としての各種俱樂部即ち成人俱樂部、青年俱樂部、少年俱樂部、少女俱樂部などによつて、社交の間

に自づから接觸して融和にいたるが如くする。娯樂及遊戯の欲求を満足せしむることによつて、個性の開發を促し、經濟的福利の増進によつて經濟力を高め、かくして全體として個性の發達及完成をなし遂げしむるやうにする。

融和事業が一度隣保事業として成立するに至れば、茲に、融和事業は一階段の上昇を成し遂げたことになる。

一〇 災害事業の取扱

災害救助 災害救助には、醫藥と食糧とを供給することが最先でなければならぬ。これに次いで、衣服及寢具であり、最後にバラツクである。バラツクの整ふ頃には、既に災害救援事業より復興事業に移ることとなる。

町村の救援は比較的簡單だけれども、關東震災の如き大規模のものにあつては醫藥及衣食住の配給はその量も多く、かつ、配給事業は組織化さなければな

らぬから、その實效を擧ぐることは容易の業ではない。その外、大都市では心理的變化が起り、秩序破壊となり、流言蜚語、混亂、騷擾、暴動となつて現はれる。この間に物質の配給をなすことは至難なことである。

醫藥と食糧 最も急を要するものは醫藥である。負傷をしたものは直ちに應急手當を施さなければならぬから救援は實に一刻を争ふ、よつて即刻救援班を組織し派遣しなければならぬ。これは平時より準備するを要するから、赤十字社の如き團體にまつて初めて實行しうべきところのものである。この外、救援に關しては、地方的及中央的組織をつくらなければならぬ。赤十字社の如く全國的組織を有つものにして、初めて災害救援に當ることができるが、關東震災以來の經驗により、平時に於て一層迅速に正確に大規模に救援班を派出しうるが如き組織をつくらなければならぬ。

食物の供給に對しては豫算をつくらなければならぬ。關東震災以來の救援は

いづれも豫算なき救援であつたが、今後、救援は凡て豫算によつて遂行することゝしなければならぬ。たとへば、北丹の震災に於ては、罹災民七千六百三十戸、人口二萬二千八百九十人であつたから、食物や衣服は先づこれだけのものを調達すれば宜いわけである。これまでの如く豫算をたてず、徒らに食物や衣服を洪水の如く押し寄せて来るに任すといふことは愚でなければならぬ。

衣服及寢具 衣服に關しては配給さるゝ季節に必要なものゝみの寄贈を受くることゝする。關東震災は九月に起つたが、寄贈する衣服はたいてい單衣であつた。然るに、これを配給するのはうすら寒い頃であつた。衣服の種類及數量はその季節により罹災の範圍によつて決定せられなければならぬ。但し、衣服の配給は一週間目には着手しなければならぬ。醫藥はその當時又は翌日、食物は翌日より三日以内に配給するようにする。

寢具の配給は困難である。輸送機關も道路も破壊されて居るから、寢具の如

きかさ張つたものを運ぶことは困難である。よつて、まづ、迅速に送りうべき毛布類を急送することを得策とする。

日用品としての紙、手拭、蠟燭、針なども供給することを忘れてはならぬ。バラツク 家屋は倒壊若くは焼失して居るから、住宅の急造を要するがこれには先づ材料を送らなければならぬ。然るに、この材料の到着は災厄後少くも一週間を経るであらうから、先づ、天幕を急送することにする。關東震災後比較的テントを配供することが少かつたようであるが、住むに家なき罹災民に對してはなるべく速かに天幕を供給し、一と先づ雨露を凌がせなくてはならぬ。

救助の範圍 今後の災害救助には救助の範圍を決めなければならぬ。この事は、我國の如き地震國に於て殊にその必要を痛感する。災厄突發すれば、たゞ無闇に全國的に騒ぐといふことは災害の少い國に於ては宜いかも知れぬが、我國の如く災害瀕出の國に於ては、それが爲め國家の諸機能が攪亂されるを免れ

ない。

關東震災の如く大規模なるものにあつては、その救助は全國的でなければならぬ。かくの如き大破壊に對しては、よく關係府縣によつて救援の實を擧ぐることは困難である。もし、これが人口の稀少なる町村の場合であれば、關係府縣及其の周圍の地方に於て救助することも出来るから、敢て他府縣を煩はすまでのこともない。次に救助を分擔する範圍は罹災民及被害程度の如何によつて決めなければならぬ。範圍の決定は先づ罹災地の地積、罹災民の數、被害程度を急速に調査し、これによつて具體的に救助の範圍を決定するのである。如何に狭小なる罹災地域と雖も、直ちに全國が騒ぎまわるようでは、到底、我國の如き震災瀕出の國に於て堪えうるところではない。これが災害國の道德とも言ふべきものであらう。

それに、科學的救助については、今一層國民の注意を喚起しなければならぬ

關東震災にあつては國民は茫然自失の體で、所謂手のつけようなきが如く、實に無効な亂雜な救助を行つた。然るにその後の救援は漸次組織化する傾向をもつに至り、事情は大いに改善せられた。いよくこれを組織化し系統化することは今後救援事業の任務でなければならぬ。

私は本書によつて、全躰にわたり、方面事業取扱方法を解説したが、更らに、將來、「社會臨床寶典」なる一書を著作公刊し、益々社會病の治醫撲滅を期するつもりである。

方面事業取扱方法 完

海野社會事業研究所

目的
社會事業の學理研究及び學理を基礎として本邦各種社會改良事業を技術化することを目的とす。

取扱事項

- 一、官公私社會事業の立案計畫及調査
- 二、工場及會社商店福利増進事業の立案計畫及調査
- 三、勞働者及商店員會社員の教育及監督等人事に關する事項
- 四、會社商會商店及工場の從業員採用の資格鑑定
- 五、工場會社及商店等前上の事務に關する顧問及囑託に應ず
- 六、講演(社會事業、社會問題、福利増進等)

取扱規定

前上事項の御依頼に應じ、各件につき御相談いたします、隨時御申越を願ひます。

京都花園妙心寺大法院

海野社會事業研究所

所長 龍谷大學 文學部教授 海野 幸德



昭和三年三月二十日 印刷
昭和三年三月二十五日 發行

方面事業取扱方法 (普及版)

普及版金四拾錢
上製金六拾錢

著者 海野 幸德

内外出版印刷株式會社代表者

發行者 須磨 勤兵衛

京都府下京區北小路通新町四入

印刷者 須磨 勤兵衛

京都府下京區北小路通新町四入

發行所

京都市下京區西洞院七條南
振替口座大阪三九三一番

内外出版印刷株式會社

發賣所

東京市日本橋區本銀町三丁目
(振替東京二八〇番)
大阪府西區阿波堀通四丁目
(振替大阪四三三番)

寶文館

内外出版印刷株式會社印刷部
京都府西區南橋七入

龍谷大學文學部教授 海野幸徳著

方面委員制度指針

四六版百二十頁
定價金五拾錢
送料金四錢

今や我國に於ては貧民制度確立の時期に進入し、方面委員制度振興の機運となり、これが改修を要することゝなつた。これがため、昨今、方面事業合理的運動と連絡提携に關する運動が行はるゝに至つた。然るに我國に於て、一つも専門家の筆になる依頼すべき「方面教科書」といふものがない。

本書はこの缺を補ひ、社會事業界及方面事業界の切實なる要求に従つて提供せられたるものである。敢て、全國方面委員及社會事業家諸氏の一本を坐右に備へ愛用せらるゝを薦む。

龍谷大學文學部教授 海野幸徳著

現代の青年運動

四六版二百六十頁
パピリン美裝
定價金壹圓五拾錢
送料金拾八錢

第一章 最近の青年運動
第二章 歐米青年事業の眞髓
第三章 歐米青年運動の特徴
第四章 我國青年事業の眞髓

第五章 青年事業の主義及理想
第六章 青年事業の集權と分權
第七章 青年の心理及青春期

▲青年愛に燃える著者は歐米の青年運動と我國のそれとを比較論詳し我國青年運動の本質及改善に對し多大の光明を投げ以て全國青年諸君に訴へその奮起を促せるもの。

龍谷大學文學部教授 海野幸徳著
海野社會事業研究所長

現代人の戀愛思想

四六版四百頁
パピリン美裝
定價貳圓五拾錢
送料拾九錢

- 第一章 現代人の亂行
- 第二章 現代人の性慾及戀愛觀
- 第三章 エレン・カイ女史の自由戀愛觀
- 第四章 戀愛と結婚との一致の要求
- 第五章 一夫一婦の倫理
- 第六章 兒童の基本的權利
- 第七章 戀愛至上の原理と批判
- 第八章 青年と道徳及宗教
- 第九章 性慾教育

近時、頻出する性的錯倒は現代人の性意識の分析により初めて其真相を明にす。本書は大野、有島、武者小路事件を分解批判し歐米の現代戀愛思想を組織的に討究し、現代人生活の基調をなす性意識を如實に深刻に縦横披開闡明す。著者は學問の利刀と道徳家の態度とを以て組織的に現代人の戀愛思想を研究し、我國最初の戀愛學として本書を性病理に惱める現代に寄與す。近時、世人を驚異せしめし著名人士の性的錯倒の真相も茲に至り初めて明也。

龍谷大學文學部教授 海野幸徳著
海野社會事業研究所長

學校と活動寫眞

四六版二百四十頁
パピリン美裝
定價金壹圓貳拾錢
送料金拾八錢

- 第一章 活動寫眞と學童
- 第二章 活動寫眞の教授法としての價值
- 第三章 娛樂の本質と社會化
- 第四章 活動寫眞教授及方法
- 第五章 學校用映畫
- 第六章 教育映畫の效果

▼學校に活動寫眞教授を導入し、教授法の根本的改革、教科書の撤廢學校構造の變改等教育上の革命を齎すべき諸問題を論議す……。

龍谷大學文學部教授 海野幸徳著
海野社會事業研究所長

兒童保護問題

四六版二百五十頁
パピリン美裝
定價金壹圓貳拾錢
送料金拾八錢

近時、頻りに論議に上る兒童保護の諸問題を取扱つたもので、兒童興味を中心時代に缺乏せるこの種文籍として供給せられたものである。家庭、學校及び社會改良界無二の好參考書たるべし。

- (一) 兒童保護
- (二) 兒童の死亡率
- (三) 兒童の愛護
- (四) 乳兒院
- (五) 牛乳の公營
- (六) 託兒所
- (七) 學童預り所
- (八) 育兒院
- (九) 兒童保育相談所
- (一〇) 兒童中央相談局
- (一一) 林間學校
- (一二) 不良兒の處分
- (一三) 不良兒と矯正院
- (一四) 少年裁判所及保護司制度
- (一五) 白痴及低能者の勞働殖民事業
- (一六) 兒童不就業の原因
- (一七) 兒童と活動寫真
- (一八) 兒童と性教育
- (一九) 兒童と生活改善。

龍谷大學文學部教授 海野幸徳著
海野社會事業研究所長

社會事業概論

菊判洋本美裝
三百五十頁
定價金貳圓六拾錢
書留送料内地七錢

社會講習會學校用教科書
社會學徒必讀

我國社會事業界及社會學界に於て權威ある信頼すべき社會事業文獻を得んごするに茲に年あり。研究の難澁なるに未だ學的形式體の透見し得ざるににより内外學者の等しく難しごするにころにして、該要求に應じ能はざりしが、著者は初めてこの困難なる事業を完成し、これを組織化し體系化して最初の學的なる社會事業文獻を提供するに至つた。これによつて初めて社會事業の原理明白となり、暗夜に光明を放つが如く、嘗に日本のみならず歐米に對しても最も高き價值ある社會事業文獻として提出せられた。

弊社は本書を普及し學術界、社會事業界に貢獻する趣旨により犠牲的価格を以て頒布せんごす。社會學專攻者、社會事業家、社會事業吏員等の速かに一本を座右にをかれんごを懇願し、殊に普選實施の今日、普く社會政策的見解をこの中に求めらるべく全國民の愛讀を煩はさんごす。

普選會政治教育淵源

龍谷大學文學部教授 海野幸徳著
海野社會事業研究所長

輓近の社會事業

菊版五百頁
背皮美裝
定價金四圓五拾錢
送料金貳拾七錢

第一章	我國の社會事業
第二章	貧民の社會政策
第三章	宗教の社會政策
第四章	社會事業の分權主義
第五章	社會事業の補助金
第六章	社會事業の是非
第七章	市場政策
第八章	社會政策
第九章	方面委員制度
第十章	融和事業の經營
第十一章	勞働宿泊所の運用
第十二章	公設質場の運用
第十三章	公設浴場の運用
第十四章	免囚保護的社會政策
第十五章	優生學的社會政策

我國社會事業學の權成者としての海野教授は我國に社會事業文籍の缺乏を憂ひ、これを完成するため、心血を瀉ぐ決心を固め陸續、社會事業文籍を出版することゝなつたが、其先鋒として現はれたものが本書である。本書は現今隆盛を極めつゝある社會事業の各部門を取扱ひ、かつ、これに明快親切なる解釋と批判とを施したもので恰も斯學文獻の缺乏せる今日、暗夜に燈火を得たるが如きものである。官公私の社會事業家は勿論、社會政策家、行政家、教育家及社會改良に志ある人志必讀の著作たるべし。

